

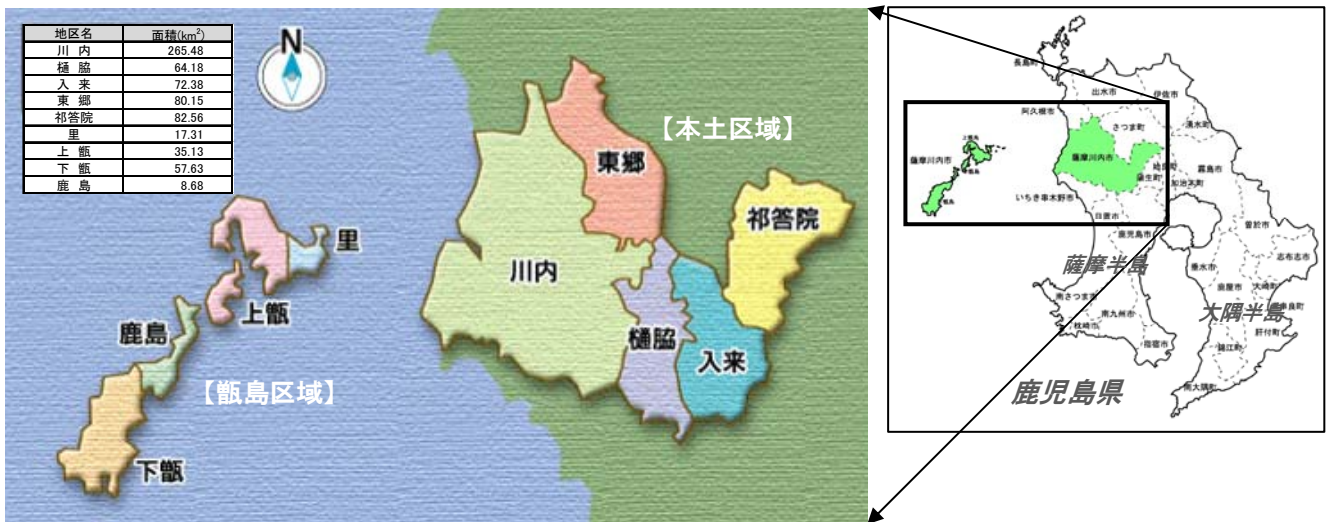
## 第2章 地域の概況

薩摩川内市は、平成16年10月12日、川内市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町・里村・上甌村・下甌村・鹿島村の1市4町4村が合併して誕生した。

薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甌島・中甌島・下甌島で構成される甌島区域から構成されている。

本市の総面積は約683.50km<sup>2</sup>で県内で第1位であり、鹿児島県の総面積(9,044.49km<sup>2</sup>)の約7.6%を占めている。(図2-1-1参照)。

注) 面積は「平成23年全国都道府県市区町村別面積調」国土地理院より記載。



出典：薩摩川内市HP

図 2-1-1 薩摩川内市の位置

### 【本土区域】

本市の本土区域の面積は約565 km<sup>2</sup>である。北東側から西側に向けて一級河川「川内川」が流れ市街部を通過し東シナ海に注いでいる。南側から東側にかけては八重山(677m)をはじめ標高600m～500m程の山々が連なり、緑豊かな藺牟田池や各地の温泉など、多種多様な自然環境を有している。これらの美しい自然環境は、「川内川流域県立自然公園」、「藺牟田池県立自然公園」に指定されている。

### 【甌島区域】

甌島列島は、県本土西方約40kmの東シナ海海上に、北東から南西の方向に約35kmにわたって位置している。上甌島(44.14km<sup>2</sup>)、中甌島(7.30km<sup>2</sup>)、下甌島(66.12km<sup>2</sup>)の3島からなり総面積は117.56km<sup>2</sup>である。各島とも地形は急峻で、上甌島は遠目木山(423m)、中甌島は帽子山(296m)、下甌島は尾岳(604m)をそれぞれ最高峰にして、200m以上の山が連なり、平地が少ない地形となっている。

上甌島・中甌島・下甌島の三島とその属島群からなる甌島列島は「甌島県立自然公園」に指定されている。

注) 島の面積は「平成23年全国都道府県市区町村別面積調」国土地理院、山の標高は「電子国土ポータル」国土地理院より記載。

## 2-1 自然的状況

### 2-1-1 気象の状況

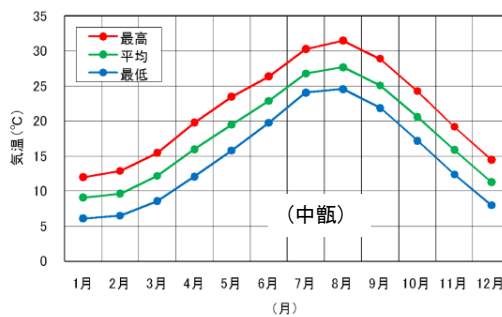
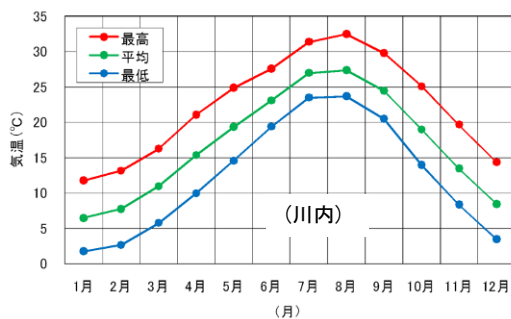
#### (1) 気温

本市の本土区域の年間の平均気温は 16.9℃、最高気温 32.5 度、最低気温 1.8 度と比較的温暖である。しかし、内陸部は内陸性気候を示し、冬期はやや気温が低い傾向がみられる。

甌島区域は海洋性温帯気候に属しており、冬は温暖で霜が降りず、平均気温は 18.1℃、最高気温 31.5℃、最低気温 6.1℃と、本土区域と比べ気温の変化は穏やかである。

(単位：℃)

観測地点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
川内	最高	11.8	13.2	16.3	21.1	24.9	27.6	31.4	32.5	29.8	25.1	19.7	14.4	32.5
	平均	6.5	7.8	11.0	15.4	19.4	23.1	27.0	27.4	24.5	19.0	13.5	8.5	16.9
	最低	1.8	2.7	5.8	10.0	14.6	19.4	23.5	23.7	20.5	14.0	8.4	3.5	1.8
中甌	最高	12.0	12.9	15.5	19.8	23.5	26.4	30.3	31.5	28.9	24.3	19.2	14.5	31.5
	平均	9.1	9.7	12.2	16.0	19.5	22.9	26.8	27.7	25.1	20.6	15.9	11.3	18.1
	最低	6.1	6.5	8.6	12.1	15.8	19.8	24.1	24.6	21.9	17.2	12.4	8.0	6.1



出典：「気象統計情報」気象庁

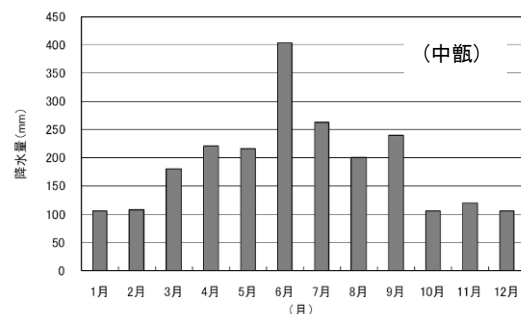
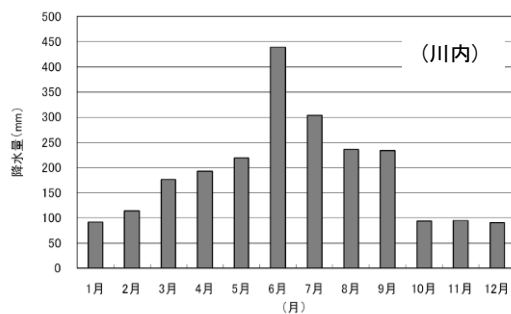
図2-1-2 気温の変化（平年値）

#### (2) 降水量

本市の年間降水量は、本土区域及び甌島区域ともに2,200mmを上回り、特に6月～7月にかけて雨が多い傾向にある。また、本市は台風常襲地帯にあるため夏から秋にかけては台風による集中豪雨も多い。

(単位：mm)

観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
川内	91.1	113.9	175.7	192.8	219.0	438.3	303.4	235.5	233.2	93.5	94.0	90.8	2,281.2
中甌	105.6	107.7	180.6	220.7	216.4	403.8	262.3	200.6	240.0	106.1	120.2	105.7	2,269.7



出典：「気象統計情報」気象庁

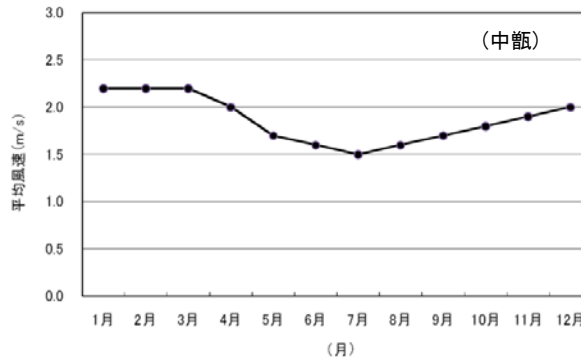
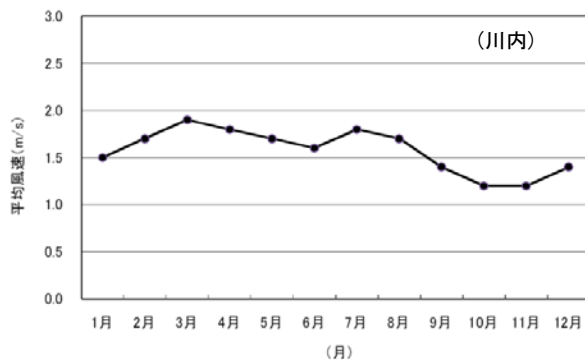
図 2-1-3 降水量（平年値）

### (3) 風向・風速

本市の海岸部では年間を通して東シナ海からの海陸風の影響を受けているが、本市周辺の年間平均風速は1.6～1.9m/sである。

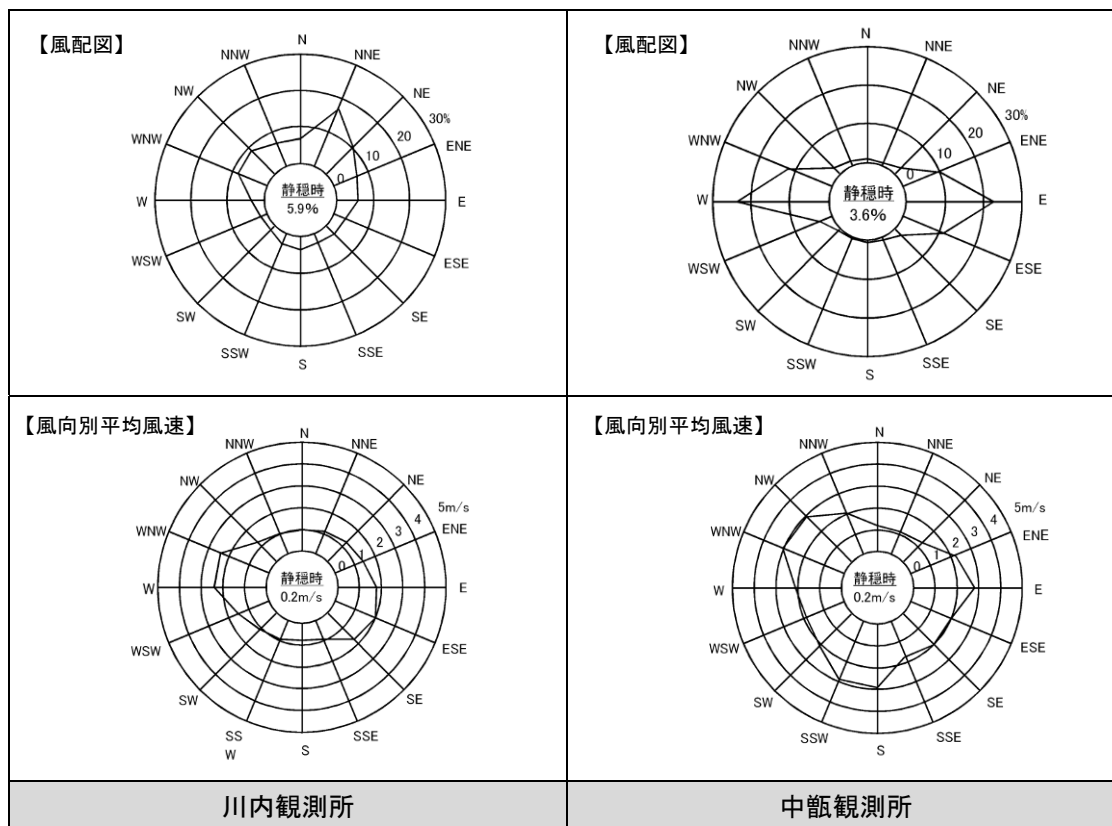
(単位：m/s)

観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
川内	1.5	1.7	1.9	1.8	1.7	1.6	1.8	1.7	1.4	1.2	1.2	1.4	1.6
中甌	2.2	2.2	2.2	2.0	1.7	1.6	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	1.9



出典：「気象統計情報」気象庁

図 2-1-4 平均風速（平年値）



注) 2011.1.1～12.31の1時間値(気象庁アメダス測定値)より編集

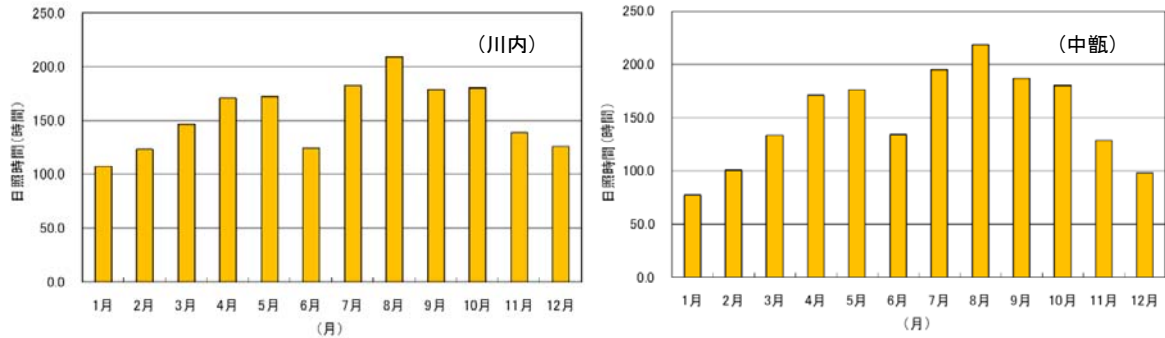
図 2-1-5 卓越風の概況

(4) 日照時間等

本市の日照時間は図 2-1-6 に示すとおりである。川内観測所の年間日照時間は 1,859 時間、中甌観測所の年間日照時間は 1,802 時間である。

(単位：時間)

観測地点	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
川内	107.5	123.0	146.6	170.6	172.1	124.0	182.4	209.1	179.1	180.7	138.4	125.7	1,859.2
中甌	77.4	100.9	133.4	171.2	176.2	134.0	195.4	218.6	187.2	180.6	129.0	98.3	1,802.2



出典：「気象統計情報」気象庁

図 2-1-6 日照時間

日射量は太陽の運行に左右され季節的に変化する。代表的な季節における太陽の日出・日没方向、正中時（太陽がその場所の真南にある時）の太陽高度は表 2-1-1 に示すとおりである。

表 2-1-1 太陽高度・方位角

場所		春分		夏至		秋分		冬至	
		方位角(°)	高度(°)	方位角(°)	高度(°)	方位角(°)	高度(°)	方位角(°)	高度(°)
川内本庁	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
樋脇支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
入来支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
東郷支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
祁答院支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
里支所	日出	93	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	55	180	82	180	58	180	35
	日没	267	0	299	0	271	0	243	0
上甌支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
鹿島支所	日出	90	0	61	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	58	180	35
	日没	271	0	299	0	271	0	243	0
下甌支所	日出	90	0	62	0	89	0	117	0
	正中	180	58	180	82	180	59	180	35
	日没	271	0	298	0	271	0	243	0

1.方位角は北を0°とし、時計回りの角度。

2.高度は太陽の地平線からの角度。

## 2-1-2 水象の状況

### (1) 河川

薩摩川内市における主要な河川として「川内川」が挙げられる。川内川は、その源を熊本県の白髪岳に発し、宮崎県の西諸県盆地を経て、川内平野を貫流し東シナ海へ注ぐ一級河川であり、製紙業、電子部品製造業等の第二次産業など、本市における社会・経済・文化の基盤となっている。薩摩川内市内を流れる二級河川以上の河川は表2-1-2に示すとおりである。その多くが川内川の支川である。

表2-1-2 薩摩川内市内の主な河川の概要

河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	延長 (km)	高低差 (m)	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	延長 (km)	高低差 (m)	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	延長 (km)	高低差 (m)
樋脇川	46.1	25.0	293.0	飛川	3.9	2.8	61.1	下鶴田川	1.8	1.0	1.9
市比野川	20.3	13.8	283.0	荒瀬川	5.9	3.4	24.1	田海川	39.2	17.1	322.8
後川内川	28.0	9.9	145.4	田代川	4.7	3.2	43.2	銀杏木川	3.7	4.0	2.7
南方川	8.9	7.1	237.1	牟田川	4.6	2.8	40.1	高城川	28.6	21.3	328.1
久富木川	17.8	11.7	193.2	菊池田川	2.8	1.6	53.7	麦之浦川	12.3	9.3	77.3
平佐川	17.1	6.8	82.0	都川	3.5	2.9	36.3	長尾川	3.7	4.4	30.0
秋上川	9.9	4.4	137.5	久見崎川	4.6	1.9	24.7	小川	4.1	4.2	80.8
百次川	14.8	7.6	79.0	釣尾川	3.4	2.5	31.2	小幡川	1.9	1.8	32.0
大王川	9.5	4.6	108.9	谷丸川	3.1	1.5	24.9	中間川	4.6	4.0	71.3
城後川	10.6	5.4	97.3	倉野川	3.6	1.4	20.7	小倉川	5.3	6.1	64.9
葛川	6.0	3.7	167.2	三堂川	2.5	1.9	13.5	西方川	4.8	3.9	142.8
枯木野川	5.9	3.8	168.5	山の手川	4.5	4.2	5.6	湯田川	12.2	8.6	148.5
隈之城川	14.0	9.1	70.9	新川	2.6	2.2	2.5	原田川	6.8	7.7	19.4
武田川	9.6	4.3	94.0	春田川	2.8	3.0	2.2	網津川	5.2	4.3	26.3
八間川	5.8	5.2	102.0	平良川	6.7	3.5	0.3	草道川	5.8	5.4	56.4
瀬早川	8.3	2.7	62.4	山田川	14.0	7.1	119.4	轟川	12.1	7.6	267.7
勝目川	9.8	5.3	37.3	岩切川	6.6	5.2	131.8	長川	4.0	2.0	57.6
木場谷川	5.8	3.6	76.4	樋渡川	18.6	9.9	230.1	中津川	4.2	2.4	118.4
松尾川	3.7	1.2	72.0	松田川	1.4	0.6	51.8	浜田川	6.1	1.9	126.6

出典：「鹿児島県河川課資料」、「基盤地図情報 数値標高モデル(10m メッシュ)」 国土地理院

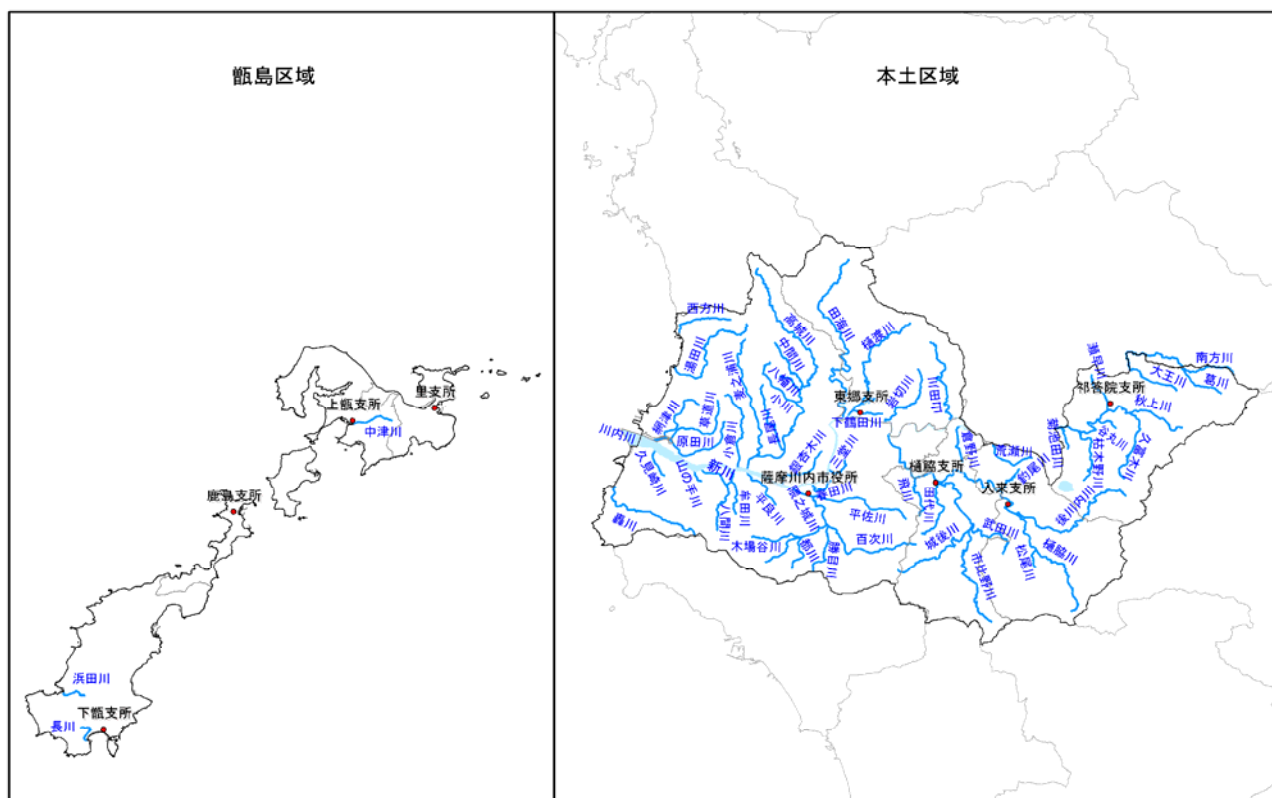


図2-1-7 薩摩川内市内の主な河川位置

## (2) 地下水

薩摩川内市では、入来町副田地区において、立山工業団地及び絃尾地区への工業用水を地下水から取水している。



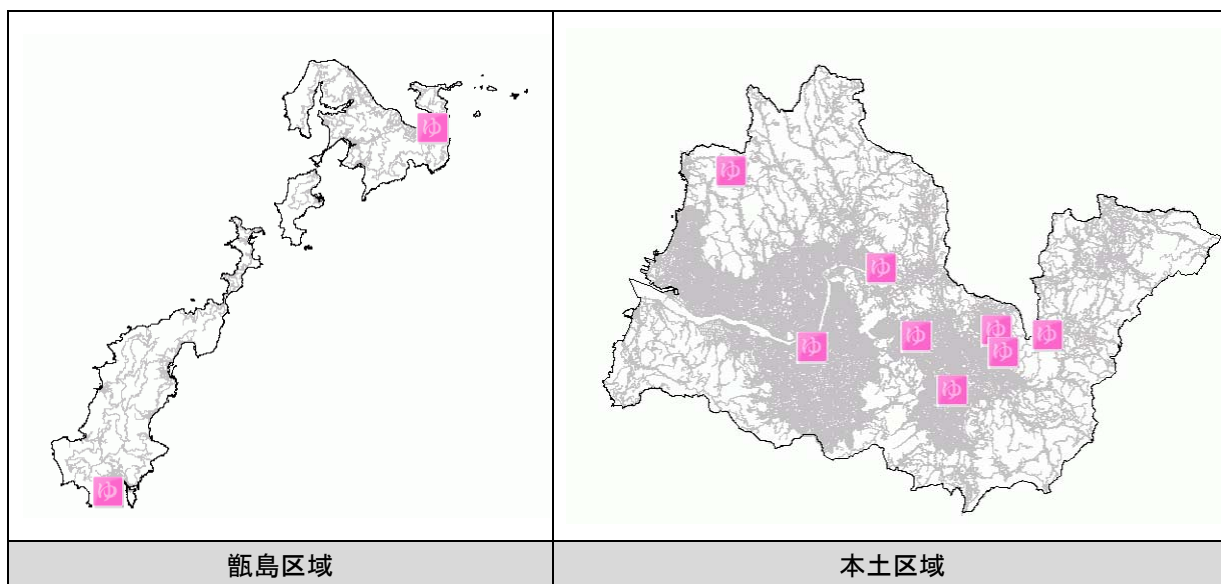
地区	供給企業数	年間取水量(m <sup>3</sup> )	年間給水量(m <sup>3</sup> )
入来	1	390,744	355,439

出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月,薩摩川内市）

図2-1-8 薩摩川内市内における地下水取水箇所

## (3) 温泉水

薩摩川内市内には、川内地区に高城温泉・川内市街地温泉、東郷地区に東郷温泉、入来地区に諏訪温泉・入来温泉、祁答院地区に藺牟田温泉・祁答院温泉・下手温泉・黒木温泉、樋脇地区に市比野温泉、里地区に里温泉、下甌地区に海洋深層水を使用した温泉がある。



出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図2-1-9 薩摩川内市内の主要な温泉

(4) 海域

1) 潮汐の状況

薩摩川内市沿岸の潮汐は、潮汐に大きく影響を及ぼす主要4分潮の潮汐調和定数より把握した。薩摩川内市沿岸の主要4分潮の潮汐調和定数は、表2-1-3に示すとおりである。

表 2-1-3 潮汐調和定数（主要4分潮）

場 所	K <sub>1</sub> 分潮		O <sub>1</sub> 分潮		M <sub>2</sub> 分潮		S <sub>2</sub> 分潮	
	振幅 (cm)	遅角 (deg)	振幅 (cm)	遅角 (deg)	振幅 (cm)	遅角 (deg)	振幅 (cm)	遅角 (deg)
川 内	24.9	207.3	19.8	185.1	79.6	218.5	34.1	249.3
浦内湾(上甌)	30.0	202.0	21.0	184.0	76.0	222.0	33.0	247.0

出典：「日本沿岸潮汐調和定数表」（昭和58年、海上保安庁）

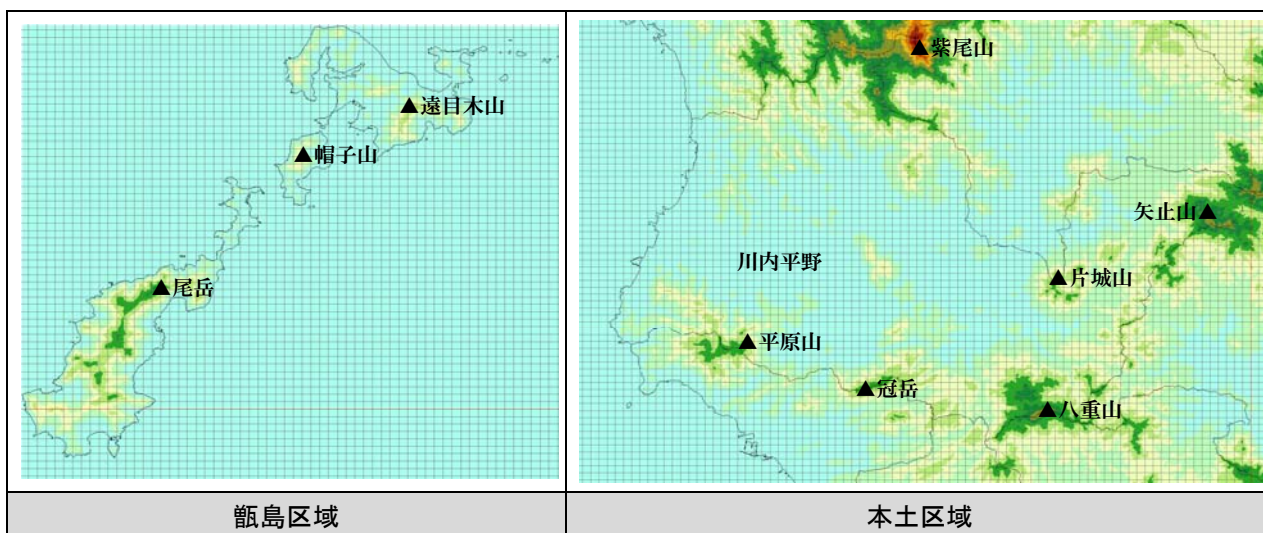
注）潮差は振幅(cm)の2倍の値となる。

薩摩川内市沿岸における潮差（干満差）は、川内港では大潮の最大（K<sub>1</sub>+O<sub>1</sub>+M<sub>2</sub>+S<sub>2</sub>）で3.2m、年平均（M<sub>2</sub>）1.6m、甌島では大潮の最大で3.2m、年平均1.5m程度である。

2-1-3 地形の状況

(1) 陸上地形

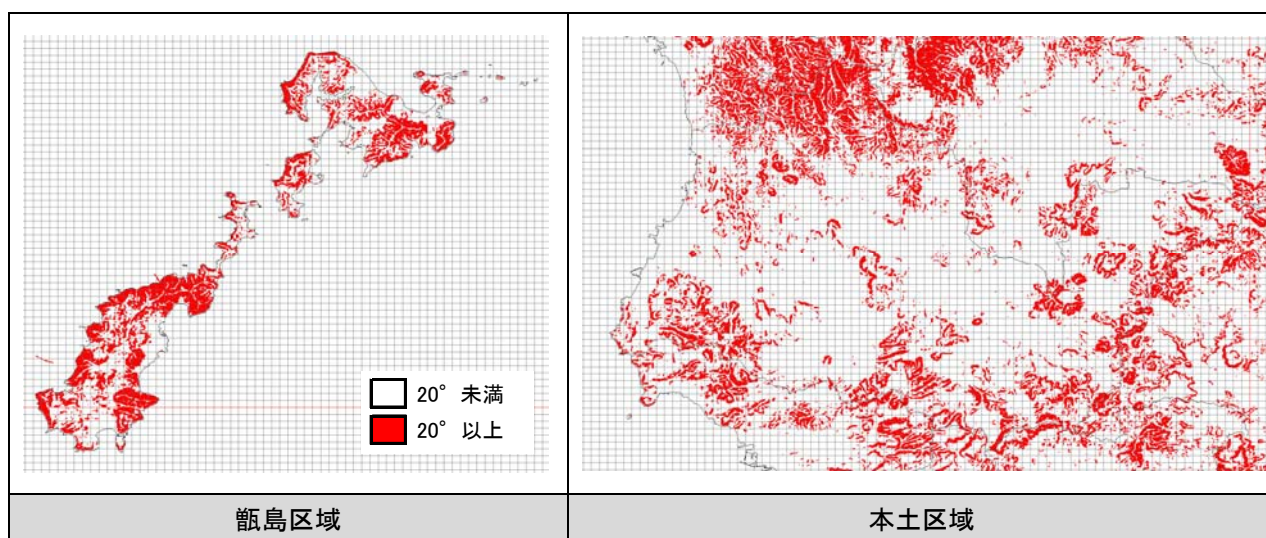
本土区域は北側に紫尾山(1,067m)、南側から東側にかけては八重山(677m)をはじめ標高600m～500m程の山々が連なり、市境に山の稜線が走っている。甌島区域は各島とも地形は急峻で、上甌島は遠目木山(423m)、中甌島は帽子山(296m)、下甌島は尾岳(604m)をそれぞれ最高峰にして、200m以上の山が連なり、平地が少ない地形となっている。



出典：「数値地図50mメッシュ（標高）」国土地理院

図2-1-10 薩摩川内市内の主要な山

また、山地部は傾斜角が $20^{\circ}$  を超える急斜面も多い。

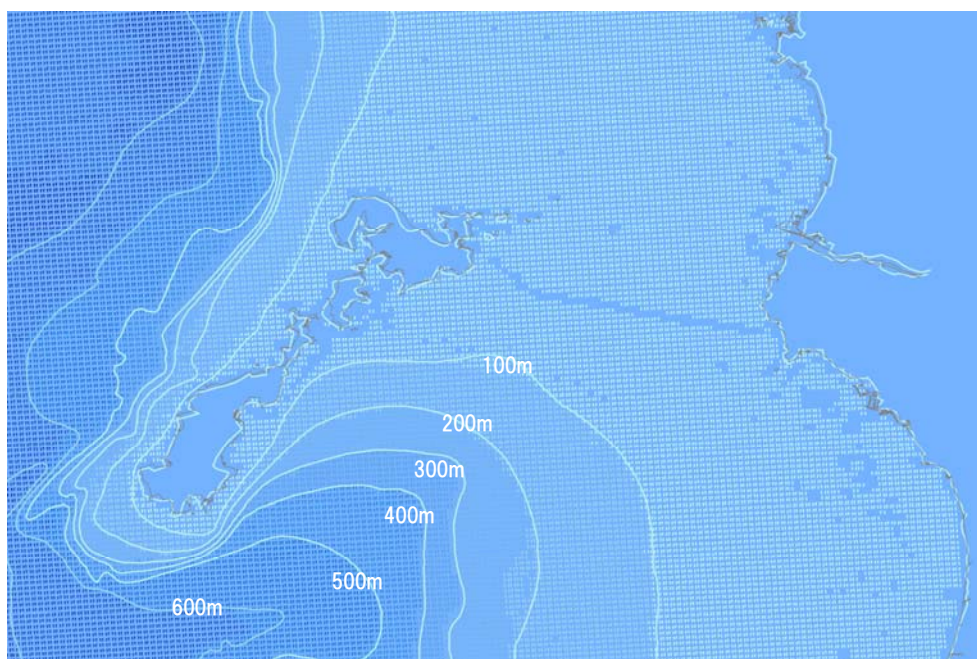


出典：「数値地図50mメッシュ（標高）」国土地理院

図2-1-11 薩摩川内市内の山の傾斜角

## (2) 海底地形

本土区域側の水深は 100m 以浅で比較的平坦な海底地形となっている。甌島周辺海域は水深 500m を超える場所もあり、急深となっている。



出典：日本海洋データセンター「500mメッシュ水深」

図2-1-12 薩摩川内市周辺海域の水深

## 2-1-4 景観の状況

薩摩川内市は市域の約66%※を林野、約8%※を耕地が占め、川内川等の1級河川、藪傘田池などの湖沼、白砂青松が美しい海岸線など多種多様な自然景観が存在する。

薩摩川内市では、「市民共通の財産として保全・活用し、次世代へ引き継ぐこと」を目的として「薩摩川内市ふるさと景観計画（平成22年3月改正）」を策定している。その中で、代表的な景観資源として以下に示す資源を挙げている。自然景観資源のほとんどは海岸や稜線をなす山が指定されている。

（※2010年世界農林業センサスより）

表2-1-4 薩摩川内市内の代表的景観資源

資源区分	代表的な景観資源
自然景観	川内川河畔、藪傘田池、中郷上池下池、天神池、唐浜海岸、西方海岸、トンボロ地形、長目の浜、鹿島断崖、ナポレオン岩、人形岩、瀬尾観音三滝、八重山、尾岳、冠岳、遠目木山、柳山、日笠山、寺山、丸山、月屋山、猫岳、愛宕山
歴史・文化資源	神亀山・可愛山陵・新田神社、薩摩国分寺跡、入来麓伝統的木建造物群保全地区、清色城跡、藤川天神、泰平寺、横岡古墳、倉野磨崖仏、猫岳、長崎堤防、江之口橋、里武家屋敷跡、手打武家屋敷通り、津口番所跡
生活資源	川内駅、国道3号無電柱化地区、川内高城温泉、市比野温泉、山ノ口・前向棚田、内之尾棚田、江之口橋、甑大明神橋

出典：「薩摩川内市ふるさと景観計画(平成22年3月改正)」薩摩川内市



瀬尾観音三滝(下甑町)



ナポレオン岩(下甑町)



山ノ口・前向棚田(寄田町)



市比野温泉(樋脇町)



泰平寺(大小路町)



新田神社(宮内町)



江之口橋(高江町)



藤川天神(東郷町)



人形岩(西方町)



寺山公園(永利町)



川内高城温泉(湯田町)



鹿島断崖(鹿島町)



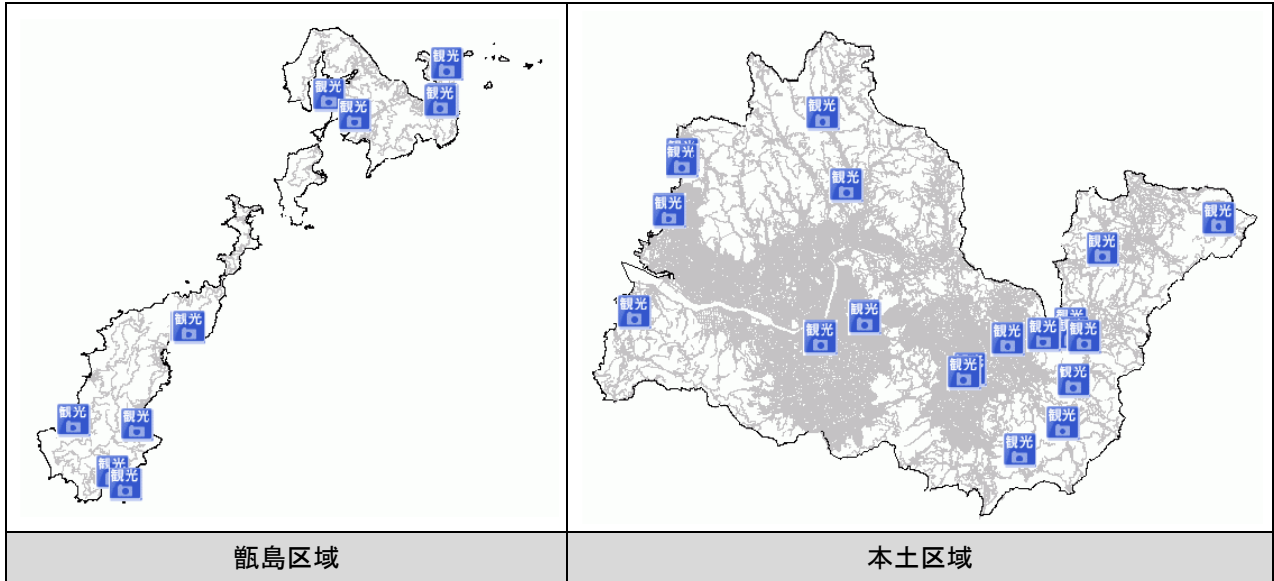
川内駅前昭和通り(鳥追町)



武家屋敷跡(里町)

出典：「薩摩川内市ふるさと景観計画(平成22年3月改正)」

図2-1-13 薩摩川内市の代表的景観資源の概要



出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図2-1-14 薩摩川内市内の主要な観光資源位置

## 2-2 社会的状況

### 2-2-1 人口の状況

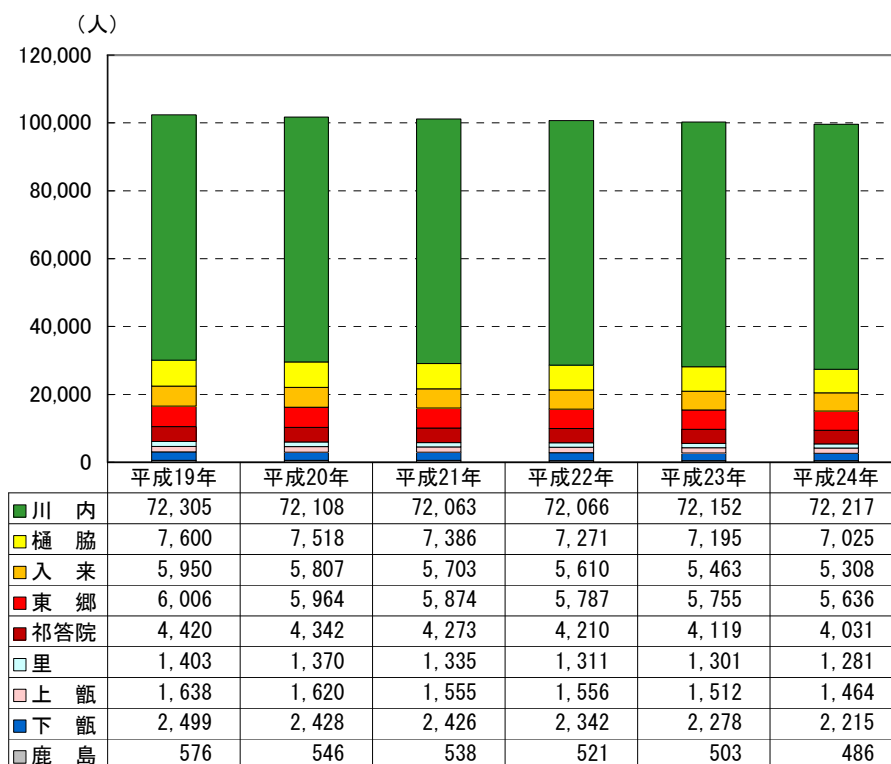
本市における人口及び世帯数は、表2-2-1に示すとおりである。薩摩川内市の人口は、近年、減少傾向にあり、6年間で約2,700人減少している。特に、入来地区及び甌島区域の減少が大きくなっている。

一世帯当りの人口は、本土区域に比べ甌島区域の方が少ない。本市における人口構成は、男性は50歳代後半～60歳代前半が多く、女性は80歳以上の人口が多い。男女とも50歳代後半～60歳代前半の人口比が大きいことが特徴的である（図2-2-2参照）。

表 2-2-1 地域別人口及び世帯数

地 区	人口（人）				世帯数（戸）		一世帯当たり人口（人/戸）
	男	女	計	比率		比率	
川 内	34,476	37,741	72,217	72.46%	32,421	70.99%	2.23
樋 脇	3,310	3,715	7,025	7.05%	3,333	7.30%	2.11
入 来	2,464	2,844	5,308	5.33%	2,533	5.55%	2.10
東 郷	2,676	2,960	5,636	5.66%	2,442	5.35%	2.31
祁答院	1,846	2,185	4,031	4.04%	1,844	4.04%	2.19
里	635	646	1,281	1.29%	631	1.38%	2.03
上 甌	704	760	1,464	1.47%	851	1.86%	1.72
下 甌	1,112	1,103	2,215	2.22%	1,312	2.87%	1.69
鹿 島	227	259	486	0.49%	303	0.66%	1.60
合 計	47,450	52,213	99,663	100%	45,670	100%	2.18

出典：住民基本台帳人口（平成24年4月1日現在）、薩摩川内市HP統計データ



出典：住民基本台帳人口（町別・年齢別人口）、薩摩川内市HP統計データ

図 2-2-1 地域別人口の推移（単位：人）

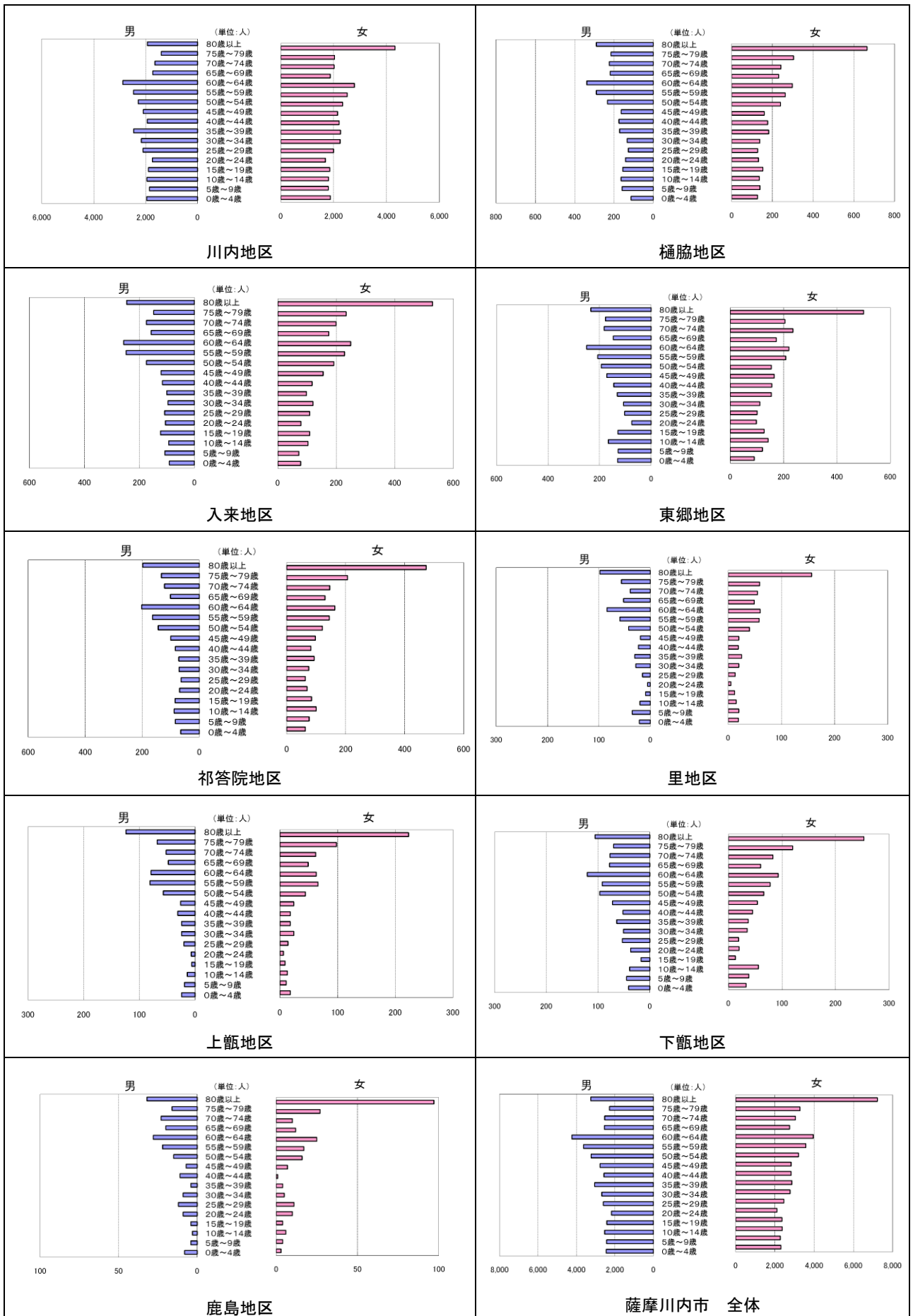


図2-2-2 年齢階層別人口・構成比 (平成24年4月1日現在)

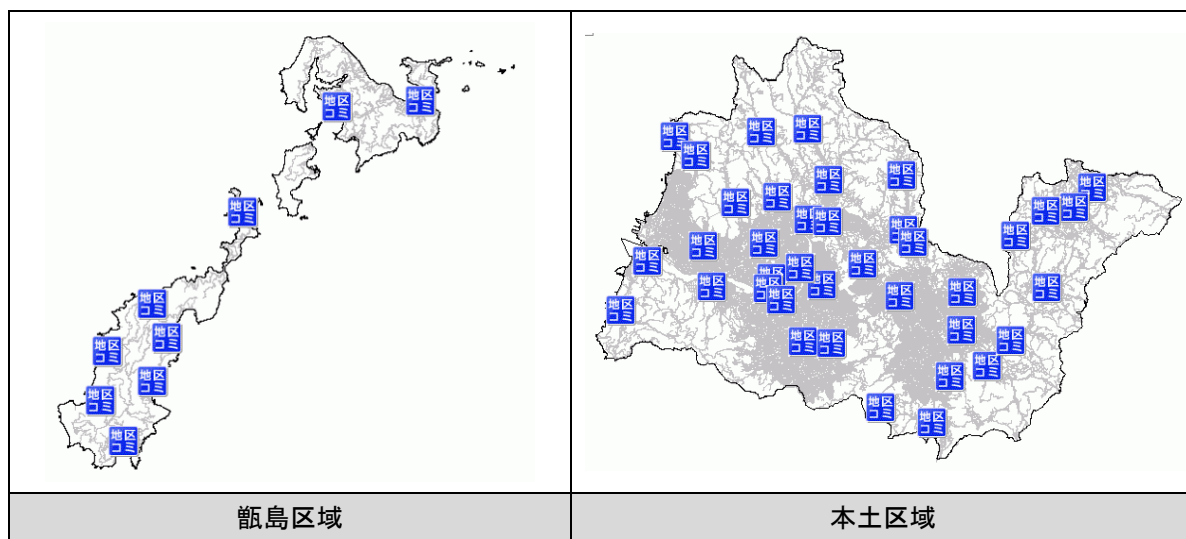
小学校区を単位とした地区コミュニティ別の人口・世帯数は、表2-2-2に示すとおりである。  
薩摩川内市には48の地区コミュニティが存在する。

表2-2-2 地区コミュニティ別人口及び世帯数

平成24年3月31日現在

地区コミュニティ名	人口(人)	世帯数	地区コミュニティ名	人口(人)	世帯数	地区コミュニティ名	人口(人)	世帯数
亀山地区	7,723	3,298	吉川地区	251	140	鳥丸地区	625	281
可愛地区	11,214	5,131	湯田地区	603	329	藤川地区	344	193
育英地区	4,779	2,006	西方地区	410	237	黒木地区	800	350
川内地区	5,114	2,472	藤本地区	239	121	上手地区	831	373
平佐西地区	12,651	5,415	野下地区	132	69	大村地区	860	372
平佐東地区	1,060	532	市比野地区	3,350	1,588	轟地区	383	196
隈之城地区	11,750	5,155	樋脇地区	3,008	1,403	蘭牟田地区	1,157	553
永利地区	6,140	2,600	倉野地区	247	128	里地区	1,281	631
水引地区	2,897	1,402	副田地区	2,237	1,050	上甑地区	1,464	851
峰山地区	1,523	721	清色地区	1,684	824	手打地区	770	422
滄浪地区	390	250	朝陽地区	622	288	子岳地区	162	98
寄田地区	352	204	大馬越地区	696	334	西山地区	157	103
八幡地区	1,424	653	八重地区	108	57	内川内地区	38	26
高来地区	2,033	1,035	斧淵地区	3,500	1,419	長浜地区	863	535
城上地区	1,189	508	南瀬地区	649	314	青瀬地区	225	128
陽成地区	715	334	山田地区	518	235	鹿島地区	486	303

出典：住民基本台帳人口（地区コミュニティ年齢別人口）、薩摩川内市 HP 統計データ



出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

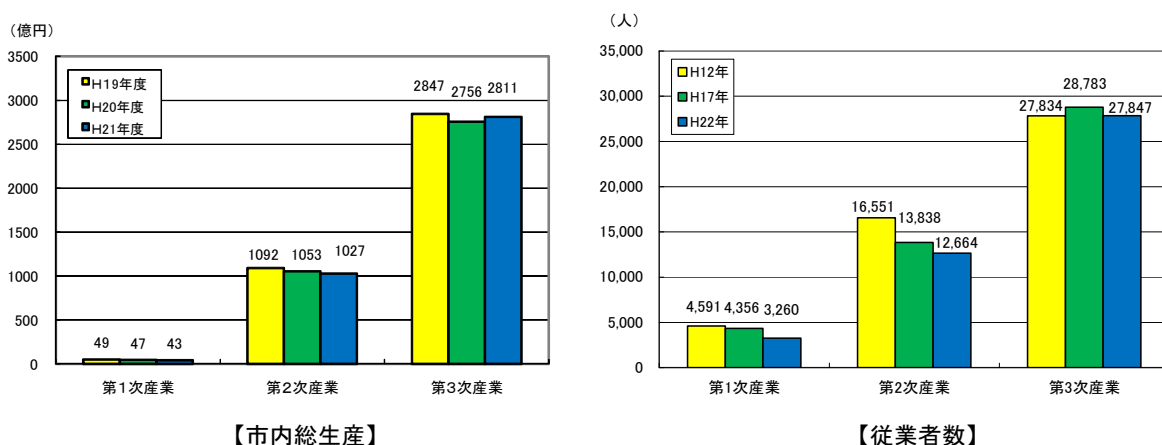
図2-2-3 地区コミュニティセンター位置

## 2-2-2 産業の状況

### (1) 産業構造

平成 19 年度～平成 21 年度にかけて、市内総生産の推移は、ほぼ横ばいとなっている。第 3 次産業が市内総生産の約 72%、第 2 次産業が約 27%を占めている。第 1 次産業は、全体の 1%程度とごく僅かであり、薩摩川内市は第 3 次産業が中心の町である。

一方、従業者数は第 1・2 次産業は減少傾向にあり、第 3 次産業は、ほぼ横ばいとなっている。



出典：市内総生産：「市町村民所得推計 統計表第 2 表(市町村内総生産)平成 21 年度推計分」(鹿児島県統計協会)  
 従業者数：「国勢調査 都道府県・市区町村別統計表」(総務省)

図 2-2-4 市内総生産及び従業者数の推移 (第 1～3 次産業)

### (2) 産業別事業所及び従業者数

第 1～3 次産業すべての業種の中では、事業所数は①卸売・小売・飲食店、②サービス業が多く、従業者数は①サービス業、②卸売・小売・飲食店、③製造業の順となっている。

表 2-2-3 産業別事業所数及び従業者数

区 分	平成 13 年		平成 18 年		比 較	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総 数	5,410	48,535	4,982	44,686	△428	△3,849
農 林 漁 業	65	417	53	305	△12	△112
鉱 業	5	60	5	46	0	△14
建 設 業	581	6,209	507	4,783	△74	△1,426
製 造 業	313	9,843	255	8,484	△58	△1,359
電気・ガス・水道・熱供給業	19	575	9	541	△10	△34
運 輸 ・ 通 信 業	169	2,157	119	1,873	△50	△284
卸 売 ・ 小 売 ・ 飲 食 店	2,248	11,942	2,165	12,398	△83	456
金 融 ・ 保 険 業	115	891	76	587	△39	△304
不 動 産 業	103	208	108	238	5	30
サ ー ビ ス 業	1,669	13,564	1,613	13,236	△86	△328
公 務	93	2,669	72	2,195	△21	△474

出典：「統計さつませんだい (平成 23 年度版)」(平成 24 年 3 月,薩摩川内市)

地区別にみると、川内地区が事業所数及び従業者数とも最も多く、樋脇地区、入来地区の順となっている。川内地区は薩摩川内市全体の中で、事業所数が約 71%、従業者数が約 78%を占めている。

表 2-2-4 地区別事業所数及び従業者数

地 区	平成 13 年		平成 18 年		比 較	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総 数	5,410	48,535	4,982	44,686	△428	△3,849
川 内	3,764	37,359	3,560	35,036	△204	△2,323
樋 脇	400	3,315	334	2,723	△66	△592
入 来	295	2,741	237	2,114	△58	△627
東 郷	228	1,294	191	1,213	△37	△81
祁 答 院	217	1,307	205	1,253	△12	△54
里	108	491	114	565	6	74
上 甑	120	764	103	571	△17	△193
下 甑	225	1,105	194	1,033	△31	△72
鹿 島	53	159	44	178	△9	19

出典：「統計さつませんだい（平成 23 年度版）」（平成 24 年 3 月,薩摩川内市）

### (3) 農業

薩摩川内市における主要農産物及び果樹の生産量は、表 2-2-5～表 2-2-6 に示すとおりである。

薩摩川内市における水稻収穫量は県内で 2 番目に多く、県全体収穫量の約 1 割を占めている。また、果樹類は温暖な気候のため柑橘類の生産が多い。

表 2-2-5 主要農産物収穫量

(単位：t)

年 次	水 稻	ラッキョウ	ゴボウ	ソラマメ
平成 20 年	10,245	419	229	4
平成 21 年	10,320	292	262	8
平成 22 年	10,330	240	273	7
年 次	やまのいも	イチゴ	ゴーヤー	キャベツ
平成 20 年	89	223	353	435
平成 21 年	101	181	320	431
平成 22 年	96	171	299	423

出典：「統計さつませんだい（平成 23 年度版）」（平成 24 年 3 月,薩摩川内市）

表 2-2-6 果樹収穫量

(単位：t)

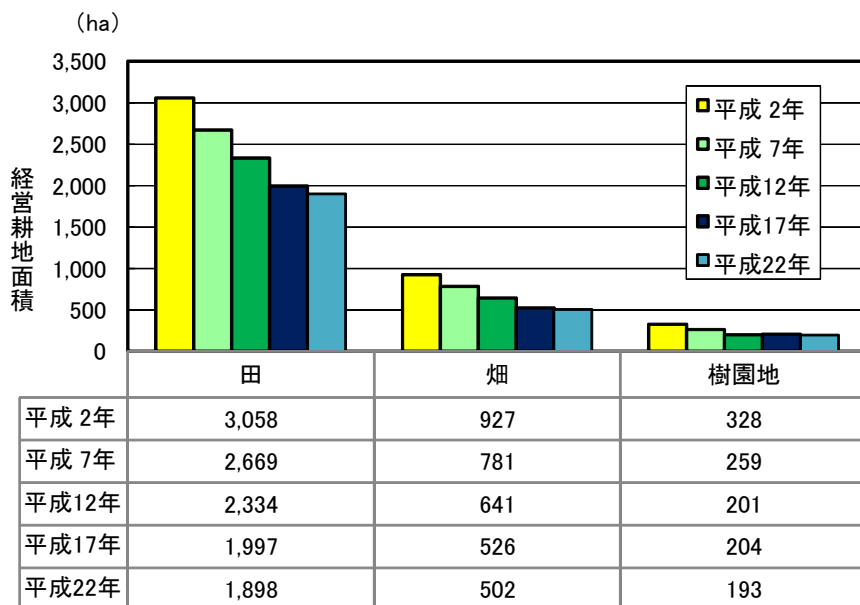
年 次	温州みかん	サワーポメロ	ハウスきんかん	ブドウ
平成 20 年	1,606	240	241	167
平成 21 年	1,742	158	251	220
平成 22 年	1,200	132	260	196

出典：「統計さつませんだい（平成 23 年度版）」（平成 24 年 3 月,薩摩川内市）

農業生産の基盤となる田・畑・樹園地の経営耕地面積は、平成2年以降減少傾向にある。

特に、田の経営耕地面積の減少が著しく、20年間で耕作水田面積の約1/3に当たる1,160haが減少している（図2-2-5参照）。

耕作放棄地の面積は平成23年度現在で、1,892haとなっている（出典：薩摩川内市農業委員会資料）。



資料：農林業センサス

図2-2-5 経営耕地面積（販売農家）の推移（H2～22年）

#### (4) 畜産業

鹿児島県は全国有数の畜産県であり、その中で、肉用牛（肉用種）、豚及びブロイラーの飼養頭羽数は全国1位となっている。薩摩川内市における家畜・家禽の飼育頭羽数は表2-2-7に示すとおりである。

表2-2-7 家畜・家禽飼育頭羽数

年次	牛（頭数）		馬（頭数）	豚（頭数）	鶏（羽数）	
	乳用牛	肉用牛			卵用鶏	肉用鶏
平成20年	155	13,368	5	11,035	20,600	1,622,010
平成21年	149	13,815	61	10,185	20,600	1,544,500
平成22年	149	14,929	8	9,525	23,600	1,633,400

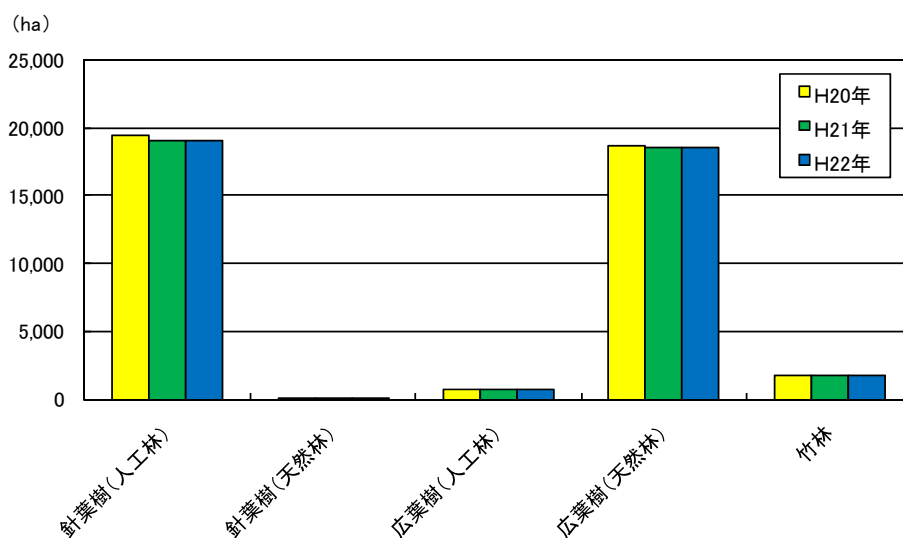
出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月,薩摩川内市）

## (5) 林業

鹿児島県の森林面積は、県土の約65%を占め、森林面積は全国第12位、九州第1位となっている。また、鹿児島県は日本一の竹林面積と竹材生産量を誇り、全国有数の竹林資源保有県でもある。薩摩川内市においては、県内で2番目の竹林面積を有している。

一方、スギ・ヒノキの人工林が利用可能な資源として充実している(36~40年生がピーク)。この内、16~45年生の間伐対象林が66%を占め、31年生以上の利用可能な資源が84%を占め、人工林の多くは育成期から利用期を迎えつつある※。

(※:「鹿児島県における木質バイオマス利用の現状と今後の方向性」、鹿児島県林業振興課、平成23年度木質バイオマス利用シンポジウム資料)



(単位: ha)

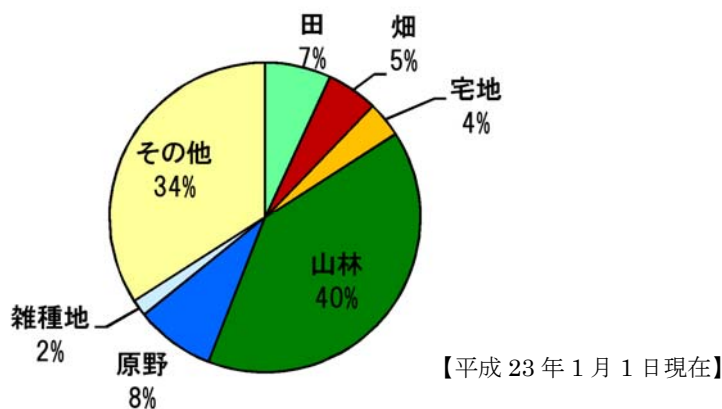
年次	総面積	針葉樹		広葉樹		竹林
		人工林	天然林	人工林	天然林	
平成20年	41,006	19,403	47	710	18,605	1,717
平成21年	40,681	19,049	44	720	18,487	1,698
平成22年	40,681	19,049	44	720	18,487	1,698

出典:「統計さつません дай(平成23年度版)」(平成24年3月,薩摩川内市)

図 2-2-6 薩摩川内市の森林面積の推移

### 2-2-3 土地利用の状況

本市の土地の地目別面積は図 2-2-7 に示すとおりである。全体の面積 683.48km<sup>2</sup>の内、山林が 273.71km<sup>2</sup>で 40%を占め一番広い。次に田畑を合わせた農地が 83.31km<sup>2</sup>で 12%となっている。本市の約 50%を山林と農地が占めている。



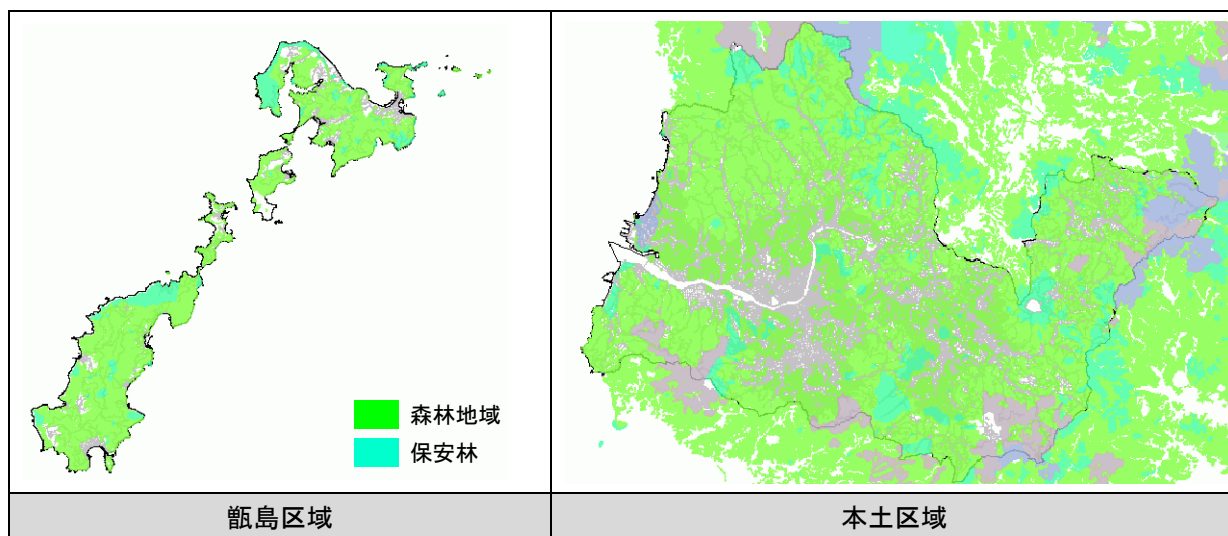
各年 1 月 1 日現在 (単位 km<sup>2</sup>)

年次	計	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
平成 21 年	683.480	46.560	35.086	24.293	216.410	41.435	11.376	308.320
平成 22 年	683.480	46.369	35.742	24.447	250.391	42.170	11.638	272.723
平成 23 年	683.480	46.885	36.424	25.204	273.713	56.501	11.787	232.966

出典：「統計さつません дай (平成 23 年度版)」(平成 24 年 3 月,薩摩川内市)

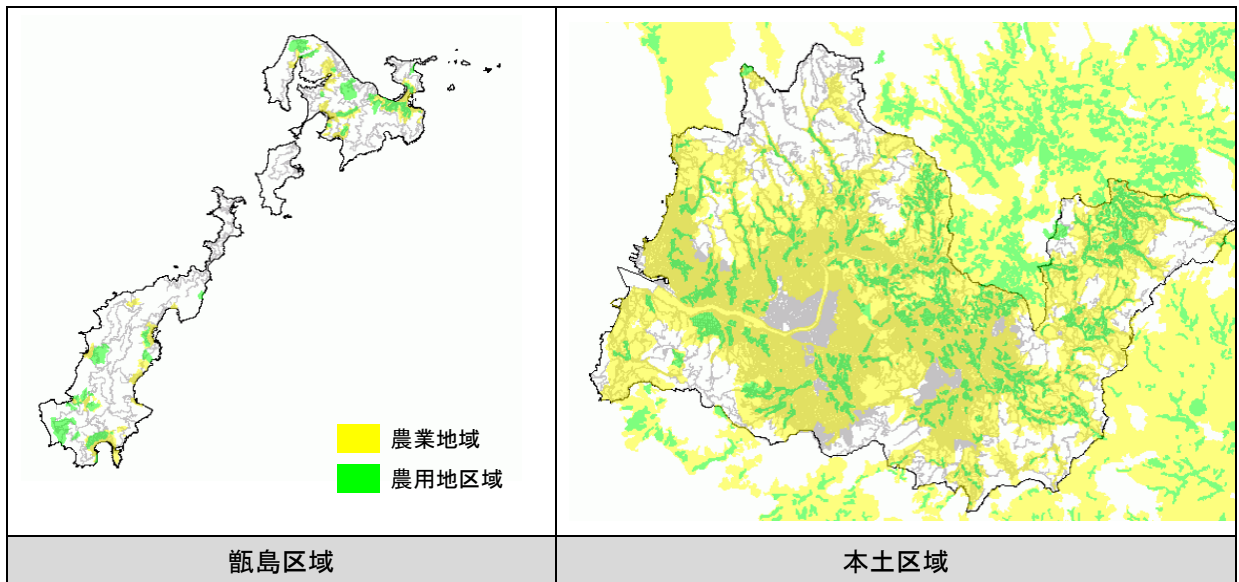
図 2-2-7 土地の地目別面積

国土利用計画法に基づき策定した森林地域及び農業地域は、図 2-2-8 及び図 2-2-9 に示すとおりである。



出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図2-2-8 薩摩川内市内の森林地域

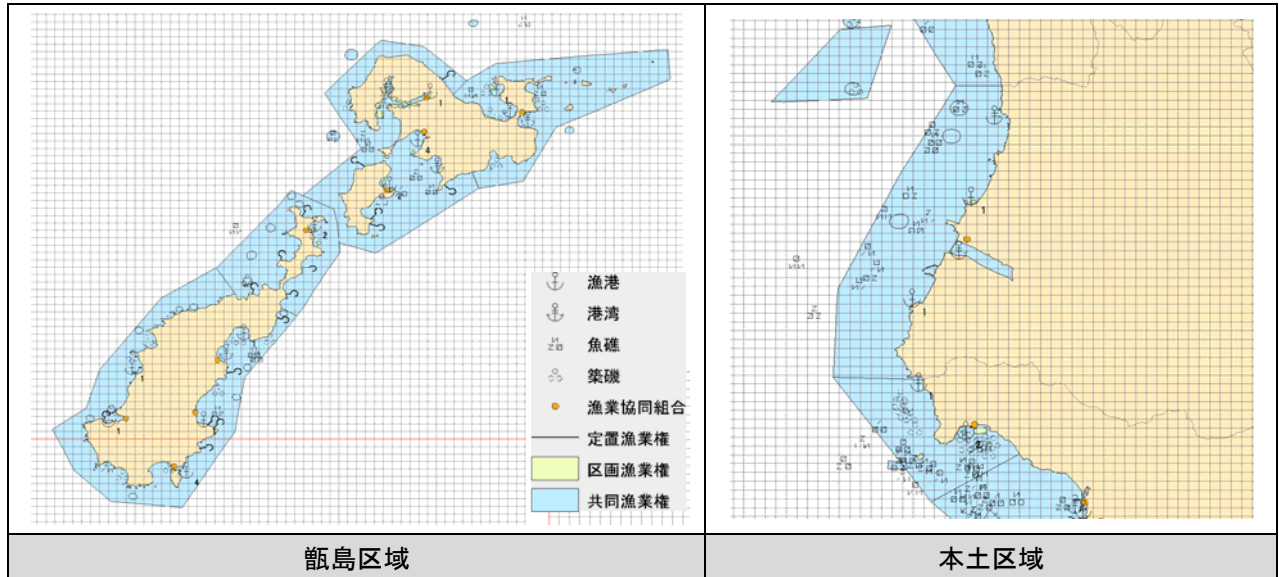


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図2-2-9 薩摩川内市内の農業地域

#### 2-2-4 水域の利用の状況

本市の水域利用は図 2-2-10 に示すとおりである。沿岸海域には共同漁業権、区画漁業権が設定されている。



出典：「2003年（第11次）漁業センサス漁業地区図及び漁業地区概況図空間データ」農林水産省

図2-2-10 薩摩川内市周辺海域の水域利用の状況

## 2-2-5 交通の状況

本市は、国・県の出先機関が集中する南九州の拠点都市と位置付けられ、国道3号、国道267号、国道328号、JR九州新幹線、JR鹿児島本線、肥薩おれんじ鉄道などの幹線が通る交通運輸の要衝となっている。さらに、南九州西回り自動車道などの高速交通網の整備も進められ、南九州の拠点都市としての機能の充実が図られつつある。

また、中国・韓国及び東南アジアとの貿易・流通の拠点としての将来性のある川内港を有しており、九州新幹線鹿児島ルートや南九州西回り自動車道等の高速交通体系との相乗効果により、南九州西岸地域の拠点となる国際貿易港としての発展が期待されている。上甑島と中甑島は、甑大明神橋と鹿の子大橋で繋がっており、現在、中甑島と下甑島を隔てる藺牟田瀬戸に架橋で渡海する藺牟田瀬戸架橋の建設が始まっている。この架橋が完成すると全島が陸続きとなる。

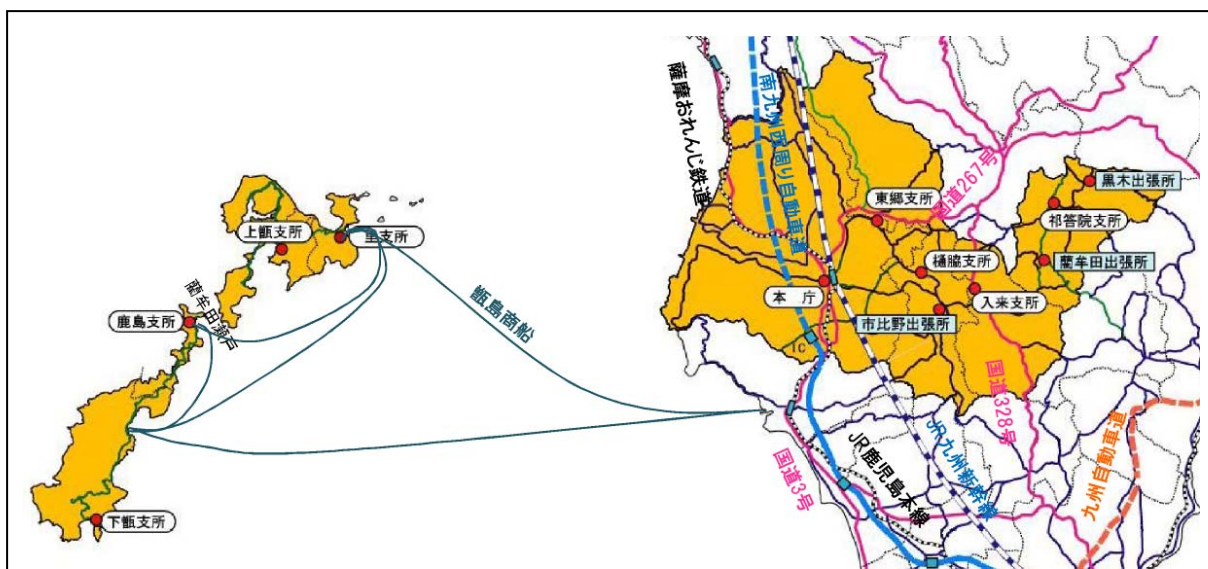


図2-2-11 交通網の状況

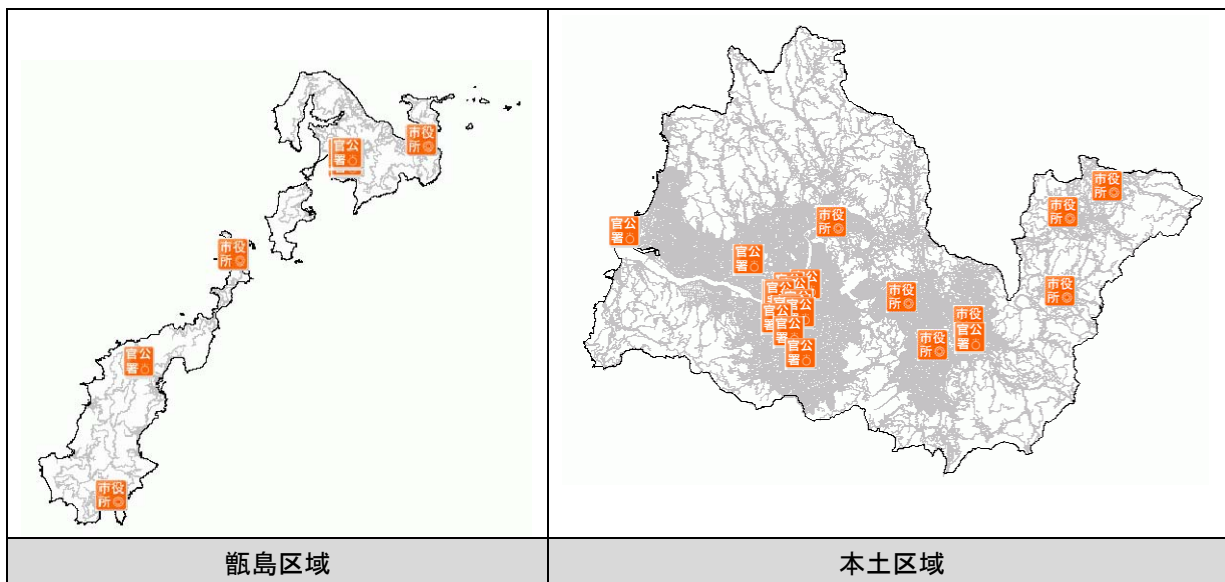
## 2-2-6 公共施設等の配置状況

本市における各公共施設等の分布状況は表2-2-8及び図2-2-12(1)～(3)に示すとおりである。

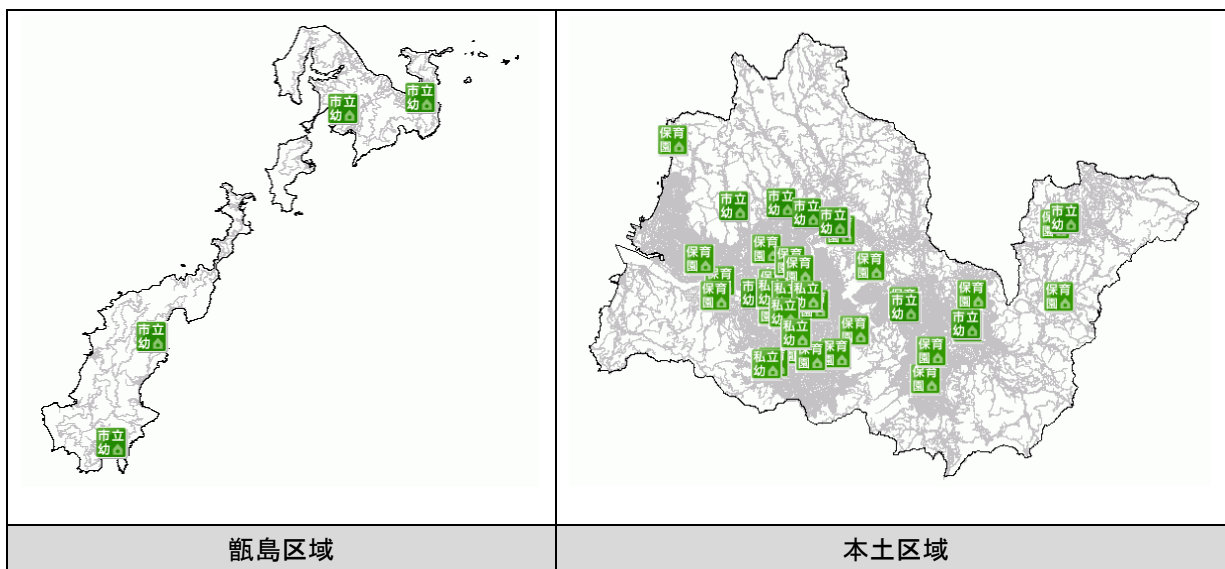
表2-2-8 公共施設等の状況

項目	地区									計
	川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甑	下甑	鹿島	
文化施設(図書館)	4	2	2	1	2	1	1	2	1	16
国の機関	18									18
地方公共団体	5	2	1	1	3	1	2	1	1	17
厚生機関	1									1
警察署	1									1
消防署	4		1		1		1	1		8
学校(幼稚園、小中学校、高等学校、大学)	44	9	10	7	6	3	5	10	3	97
病院	16									16
福祉施設(老人福祉・保育園)	41	9	9	4	9	2	4	5		83
公民館	1	1	1	1	1	1	1		1	8

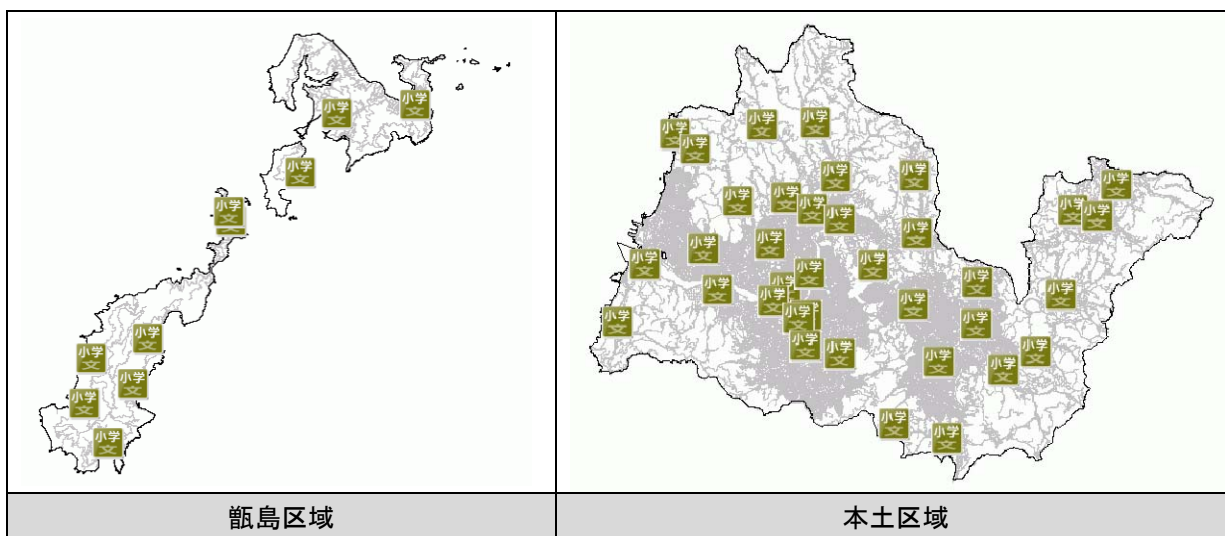
出典：「国土数値情報(H18年度)」国土交通省より編集



【公共施設等(官公署・市役所)】



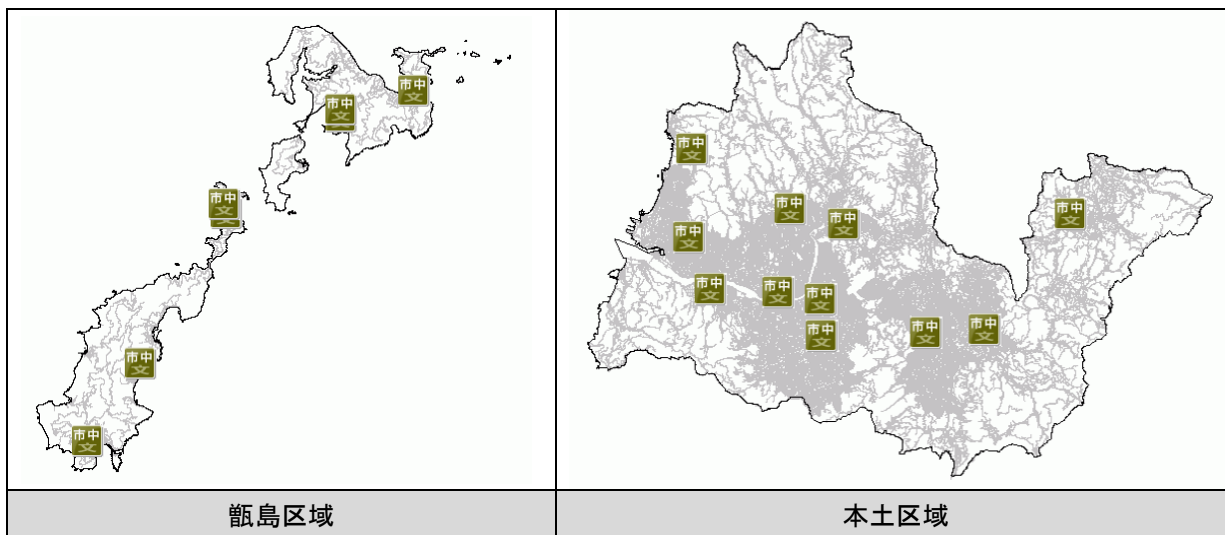
【公共施設等(幼稚園・保育園)】



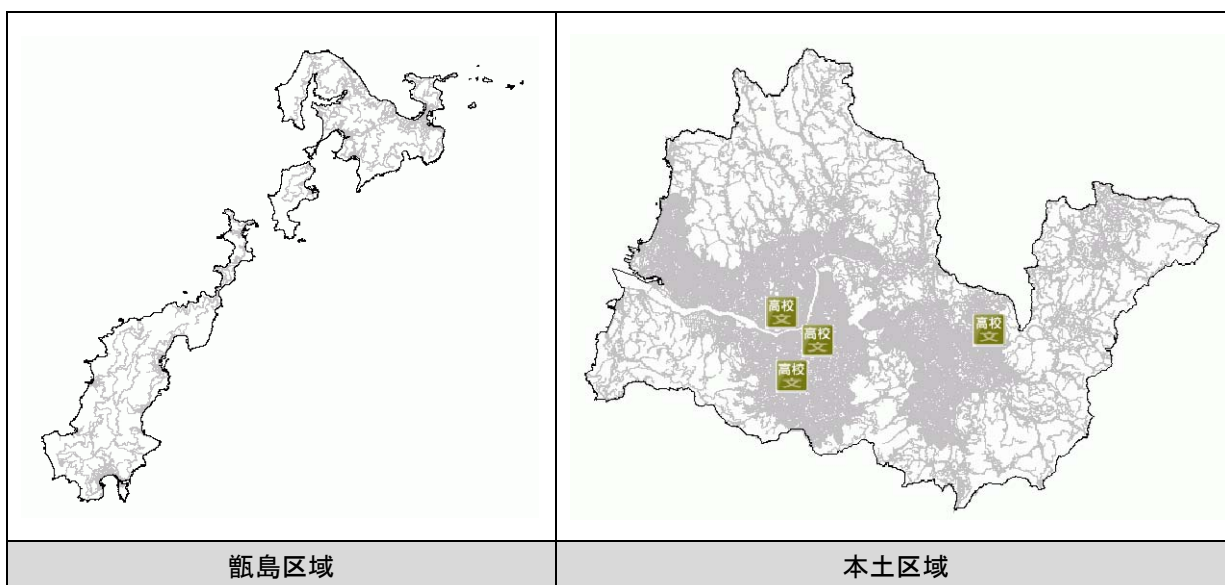
【公共施設等(小学校)】

出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

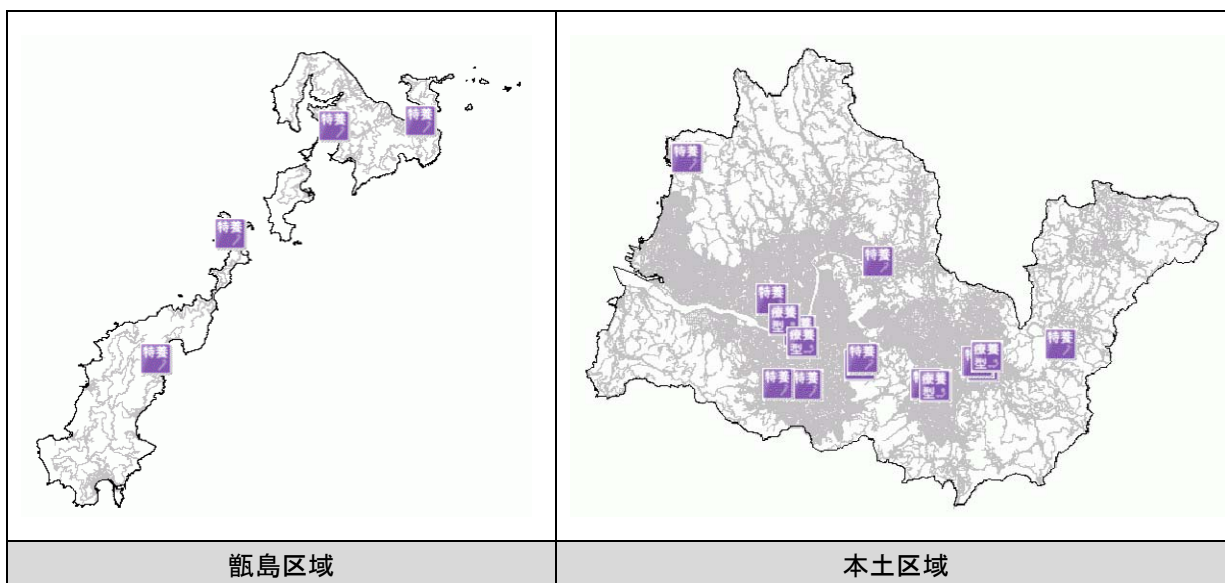
図 2-2-12(1) 公共施設等の分布状況



【公共施設等(中学校)】



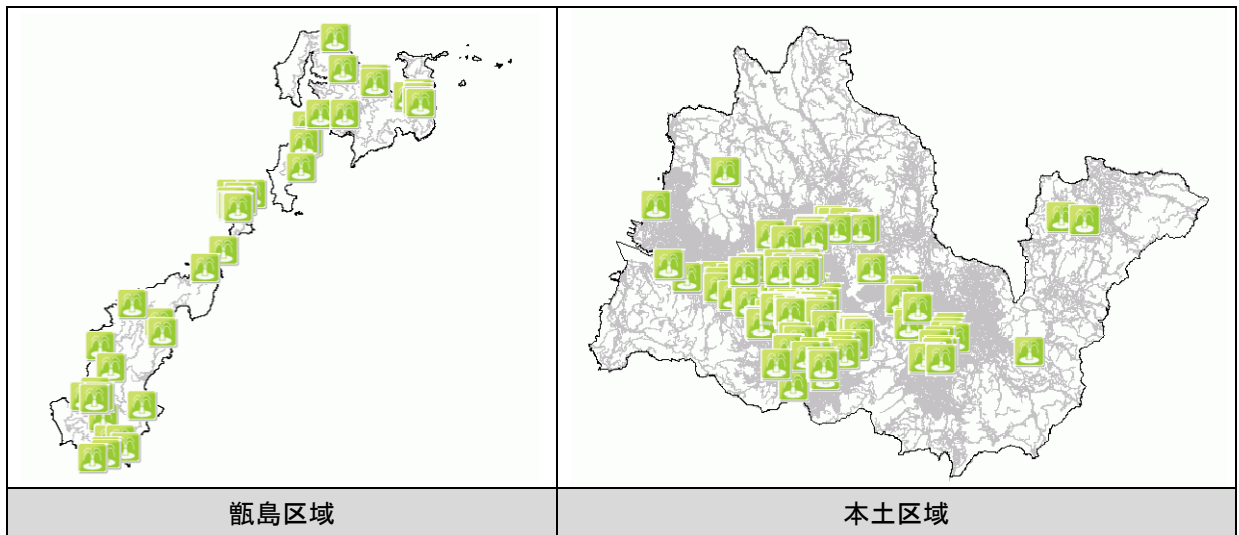
【公共施設等(高等学校)】



【公共施設等(特別養護老人ホーム)】

出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-2-12(2) 公共施設等の分布状況



公園施設	地 区									総数
	川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	
都市公園	33	3	3	1	0	0	0	0	0	40
普通公園	68	15	1	6	2	7	10	18	13	140
農村公園	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

【公共施設等(公園)】

出典:薩摩川内市HP「地図サービス」,統計さつませんだい

図 2-2-12(3) 公共施設等の分布状況

## 2-2-7 環境・エネルギー関連施設の状況

### (1) 環境関連施設

#### 1) ゴミ処理

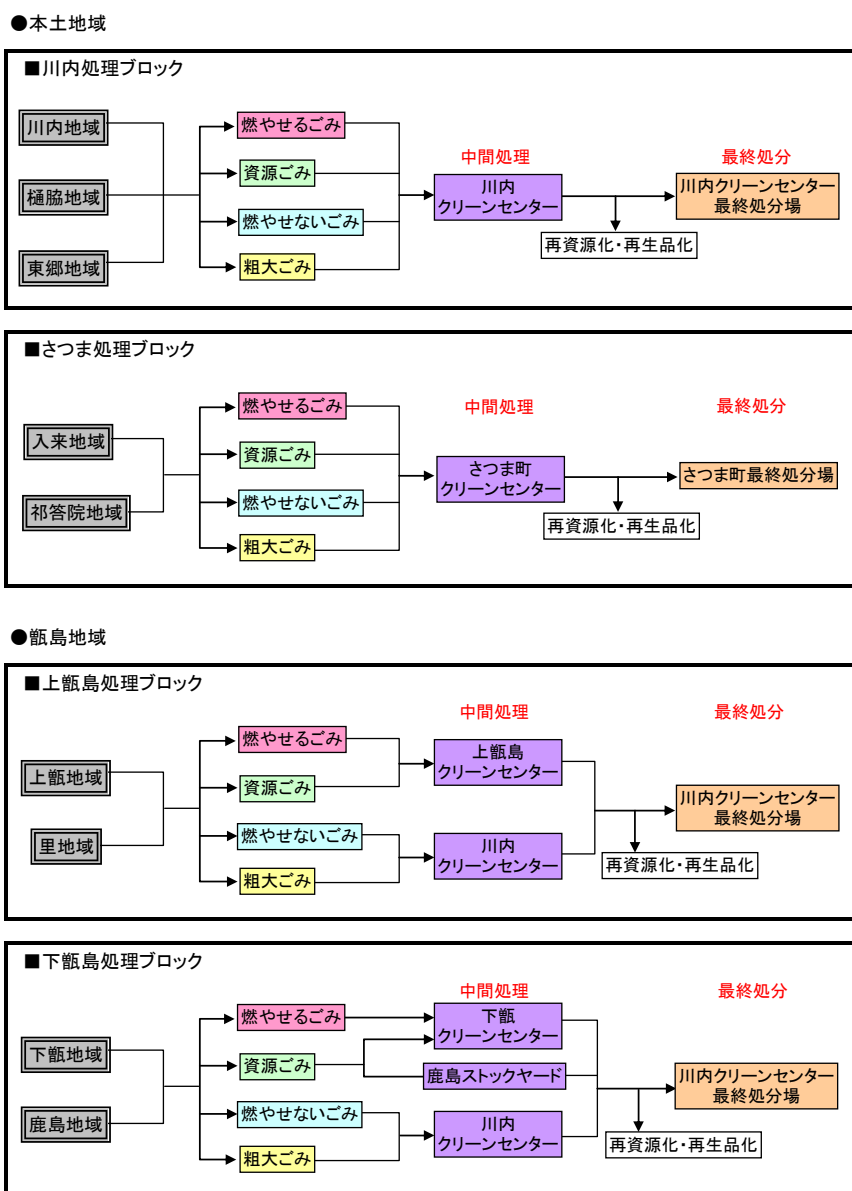
薩摩川内市におけるゴミ収集状況は表2-2-9に示すとおりである。年間約3万tのゴミが収集されている。収集されたゴミは図2-2-13に示すとおり適正処理されている。

表2-2-9 ゴミ収集状況

(単位：t)

年次	可燃ゴミ	不燃ゴミ	粗大ゴミ	資源ゴミ	計
平成20年	24,538	1,071	1,086	3,783	30,478
平成21年	24,404	1,057	1,137	3,622	30,220
平成22年	24,243	1,022	1,127	3,398	29,790

出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月,薩摩川内市）



※燃やせるごみの焼却残渣の中で再資源化・再生品化しているものはない

図2-2-13 薩摩川内市におけるゴミ処理体系

## 2) し尿・浄化槽汚泥

薩摩川内市におけるし尿・浄化槽汚泥の収集状況は表2-2-10に示すとおりである。収集されたし尿・浄化槽汚泥は図2-2-14に示すとおり適正処理されている。

表 2-2-10 し尿・浄化槽汚泥の状況

年次	人口(人)	生活排水処理人口(人)	生活排水処理率(%)	収集量(kL)	し尿収集量(kL)	浄化槽汚泥収集量(kL)
平成 20 年	101,153	48,162	48	74,103	26,879	47,224
平成 21 年	100,674	49,772	49	74,069	26,878	47,191
平成 22 年	100,278	51,370	51	72,262	25,511	46,751

出典：「統計さつませんだい（平成 23 年度版）」（平成 24 年 3 月,薩摩川内市）

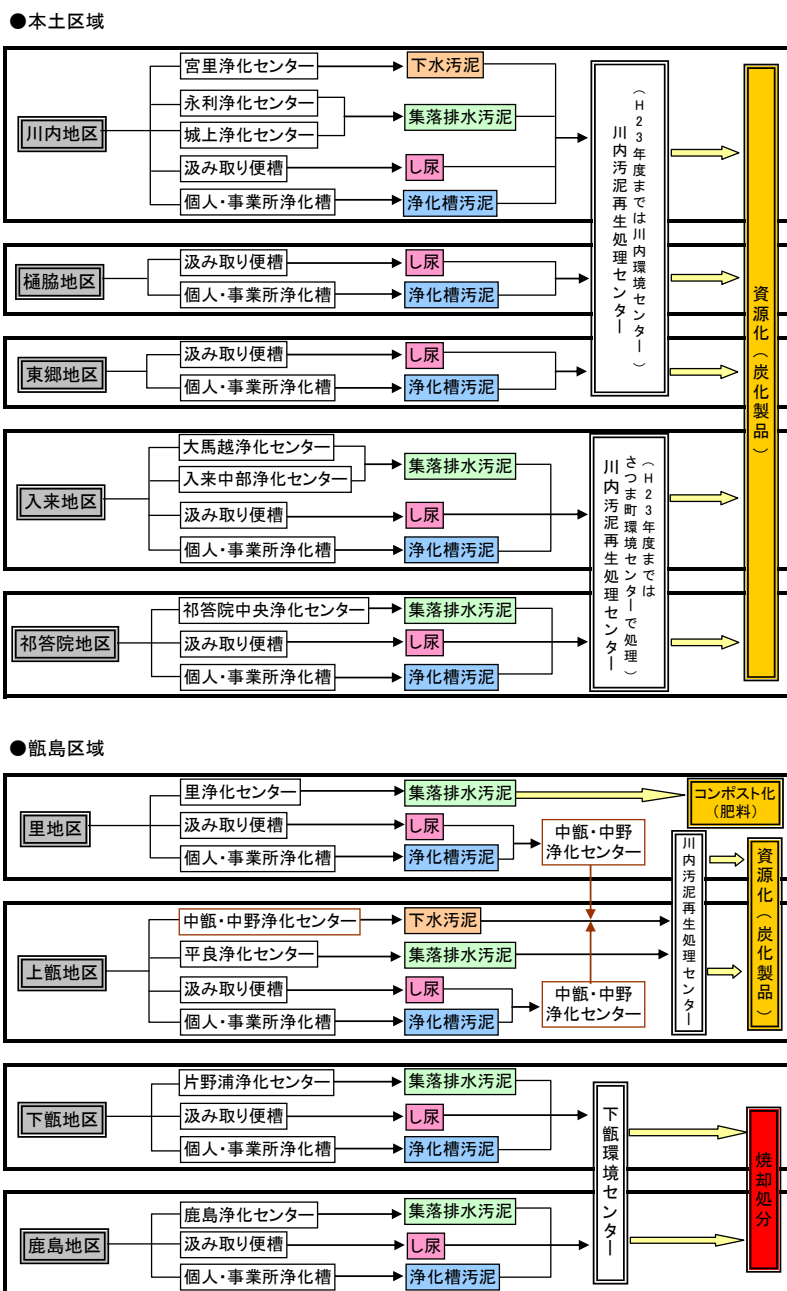


図 2-2-14 薩摩川内市におけるし尿・浄化槽汚泥処理体系

### 3) 上水道

薩摩川内市における上水道施設の状況は表2-2-11に示すとおりである。配水池には約2.5万m<sup>3</sup>の上水が蓄えられている。

表 2-2-11 上水道施設の状況(平成 22 年度)

地区別		配水能力 (m <sup>3</sup> /日)	水源別 (m <sup>3</sup> /日)		配水池(m <sup>3</sup> )	配水管延長(m)
			表層水外	地下水		
計		38,176	32,966	5,804	24,945	693,849
上水道事業	川内	27,890	26,400	1,630	18,405	438,159
	樋脇	3,686	0	3,713	2,213	71,084
	入来	3,400	3,200	200	2,422	62,883
	東郷	3,000	3,300	350	1,562	89,887
法適簡易水道事業		200	66	261	343	31,836

出典：「統計さつませんだい(平成 23 年度版)」(平成 24 年 3 月,薩摩川内市)

### 4) 廃棄物最終処分場

薩摩川内市には、15ヵ所の最終処分場がある。その内、14ヵ所は埋立終了となっている。

表 2-2-12 薩摩川内市における一般廃棄物最終処分場の状況

最終処分場	地区									総数
	川内	樋脇	入来	東郷	祁答院	里	上甌	下甌	鹿島	
埋立中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
埋立終了	1	2	1	1	1	1	2	4	1	14

出典：「一般廃棄物処理実態調査結果(平成 22 年度調査結果)」,環境省より編集

## (2) エネルギー関連施設

### 1) 発電所

薩摩川内市には表2-2-13に示す発電所が存在し、九州地域における電力の約14%を供給している。

表 2-2-13 薩摩川内市に立地する発電所の発生電力量

発電所		電力量	平成20年度	平成21年度	平成22年度
火力発電所	1号機	千kWh/日	147,761	194,990	457,494
	2号機	千kWh/日	324,400	252,487	742,402
原子力発電所	1号機	千kWh/日	5,865,340	6,228,344	7,093,126
	2号機	千kWh/日	5,754,854	7,909,654	6,096,734
内燃力発電所		千kWh	33,502	37,515	38,316

出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月、薩摩川内市）

### 2) 電灯・電力の需要状況

九州電力(株)川内営業所管内の電灯・電力の需要状況は、表2-2-14に示すとおりである。

表 2-2-14 電灯・電力の需要状況

(単位：千kWh)

年 度	特定規模需要外				特定規模需要			計
	定額電灯	従量電灯 (A・B)	従量電灯 (C)	低圧電力	業務用電力	産業用電力	大口電力	
平成20年度	749	226,106	114,106	65,665	200,361	116,697	453,391	1,177,075
平成21年度	765	218,346	121,673	64,077	199,240	111,480	446,566	1,162,147
平成22年度	779	223,812	135,423	66,229	201,130	119,893	486,273	1,233,539

注) 但し、九州電力(株)川内営業所管内（薩摩川内市・いちき串木野市・さつま町）の電力量

出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月、薩摩川内市）

### 3) 都市ガス利用状況

都市ガスの供給が行われている川内地区における都市ガスの利用状況は、表2-2-15に示すとおりである。年間約50～55万m<sup>3</sup>の都市ガスが利用されている。

表 2-2-15 都市ガス利用状況

(単位：m<sup>3</sup>)

年 次	家庭	商業	その他
平成20年	1,078,858	413,797	495,524
平成21年	1,043,912	402,591	485,024
平成22年	1,075,095	423,343	551,641

注) 但し、川内地区のみ

出典：「統計さつませんだい（平成23年度版）」（平成24年3月、薩摩川内市）

## 2-3 関連法令等による規制の内容

次世代エネルギーの利用に際して関連する法令等の規制で地域の指定が存在するものについて、以下にまとめた。

### 2-3-1 生活環境に係る法令

#### (1) 水質汚濁

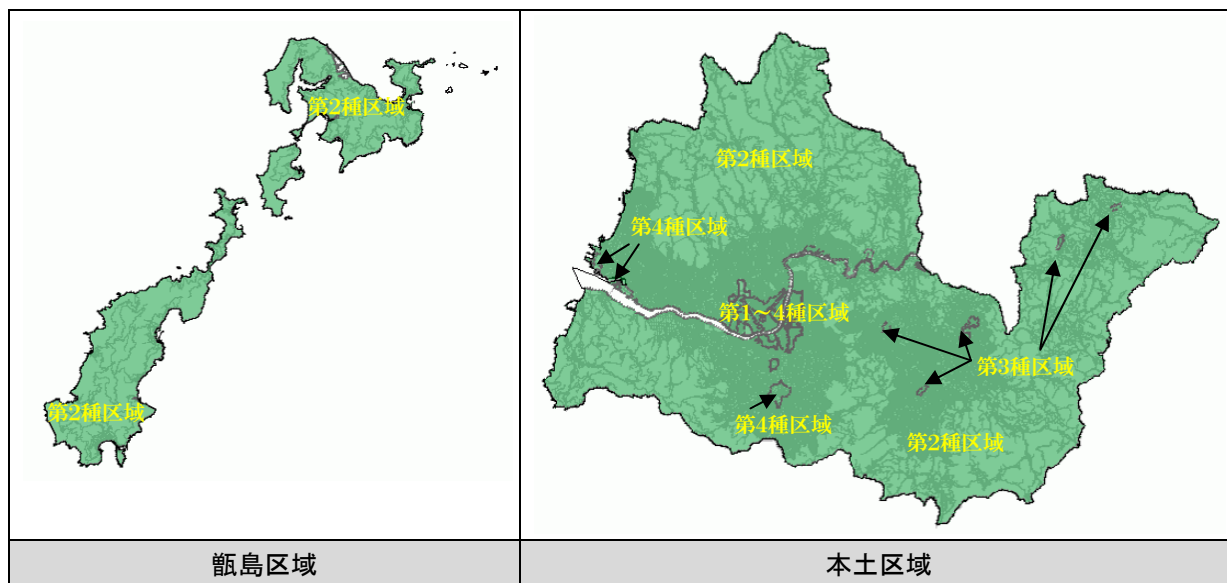
公共用水域には環境基準が設定され、類型指定がなされている。市内における水質汚濁に係る環境基準の類型指定の状況は、表 2-3-1 に示すとおりである。

表 2-3-1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定の状況

対 象	場 所	類型指定
河 川	川内川	A
海 域	薩摩半島西部海域	A
	川内港	B

#### (2) 騒音規制

騒音に係る規制は、「騒音規制法」(昭和 43 年 6 月 10 日法律第 96 号) に基づき行われている。市内における規制区域の指定状況は図 2-3-1 に示すとおりである。

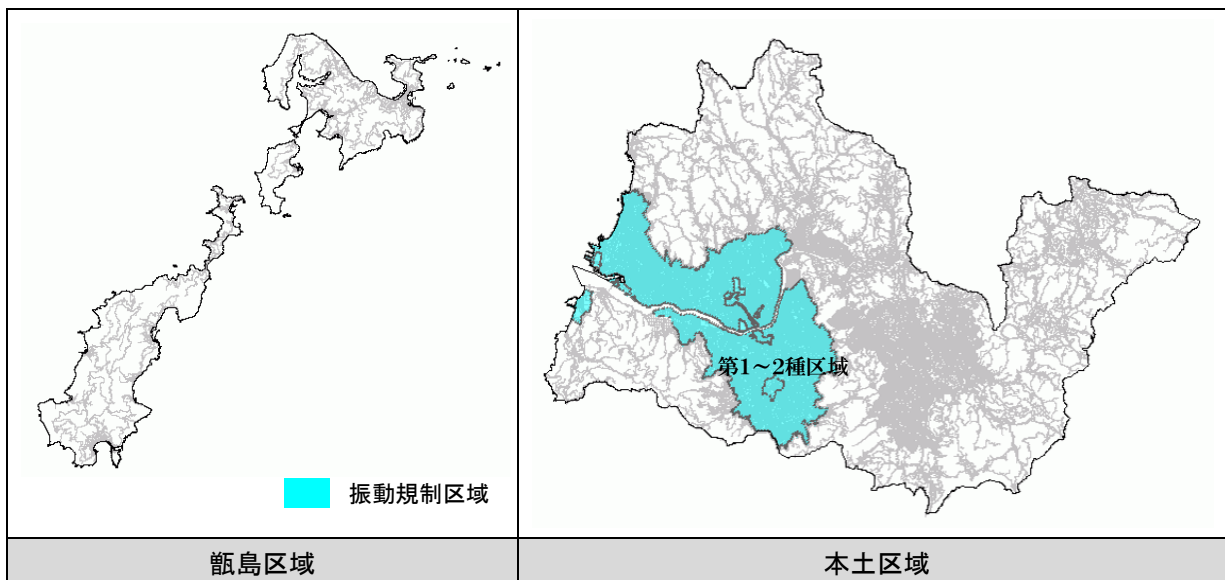


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-1 騒音規制区域

#### (3) 振動規制

振動に係る規制は、「振動規制法」(昭和 51 年 6 月 10 日法律第 64 号) に基づき行われている。市内における規制区域の指定状況は図 2-3-2 に示すとおりである。

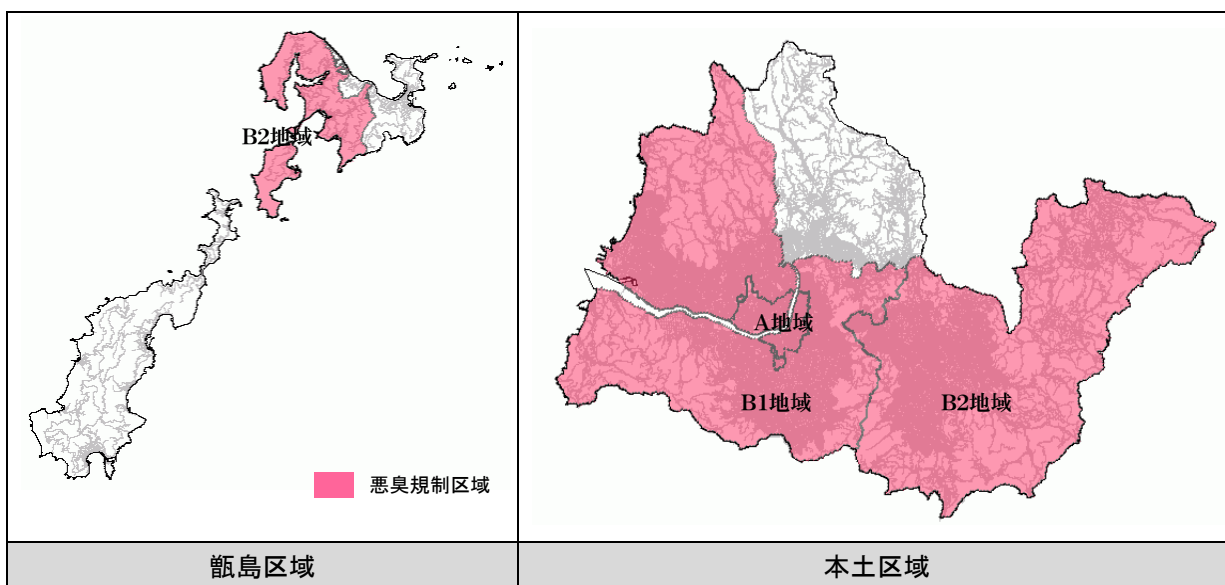


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-2 振動規制区域

(4) 悪臭防止

悪臭に係る規制は、「悪臭防止法」(昭和 46 年 6 月 10 日法律第 91 号) 及び「鹿児島県公害防止条例」(昭和 46 年 10 月 15 日鹿児島県条例第 41 号) により行われている。市内の規制地域の指定状況は図 2-3-3 に示すとおりである。



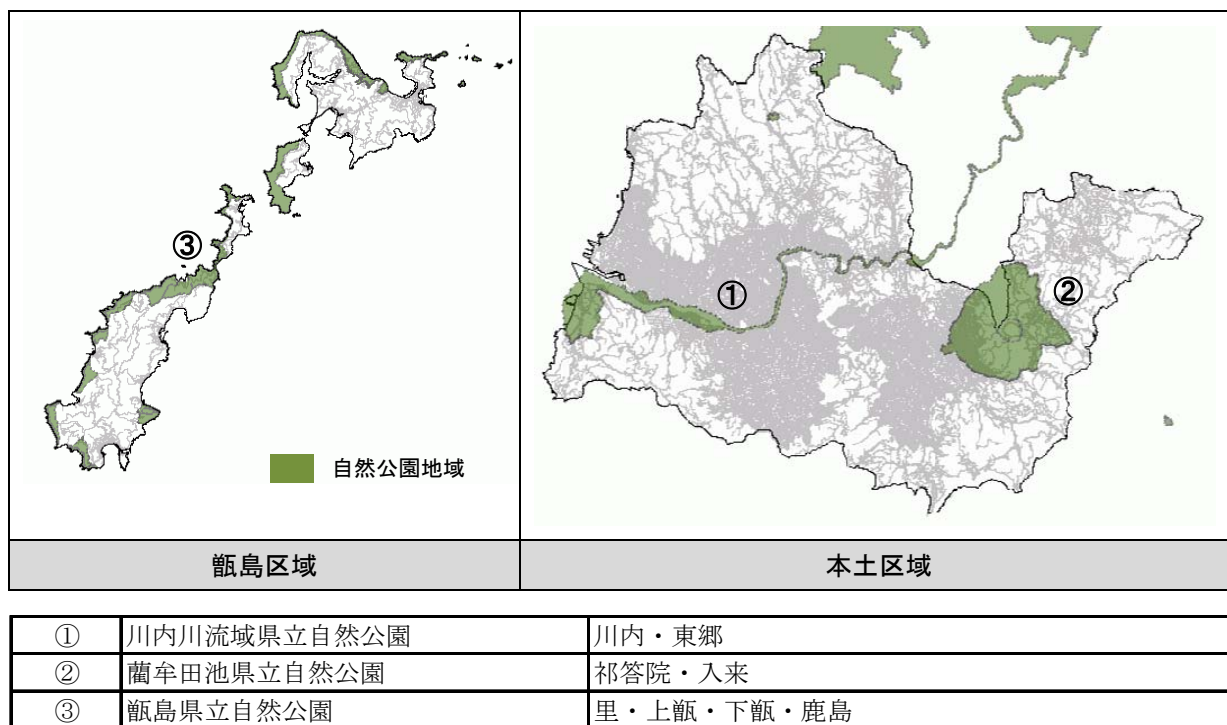
出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-3 悪臭規制区域

## 2-3-2 自然環境に係る法令

### (1) 自然公園

「自然公園法」(昭和 32 年 6 月 1 日法律 161 号)に基づく地域地区の指定状況は、図 2-3-4 に示すとおりである。

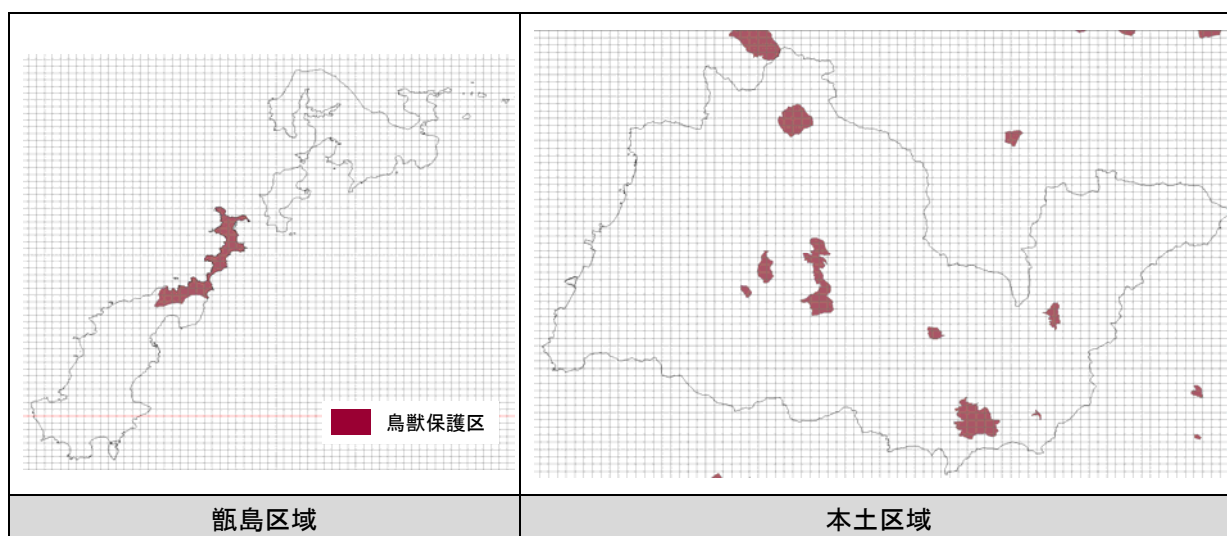


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-4 自然公園の指定状況

### (2) 鳥獣保護

鳥獣保護に係る規制は、「鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律」(平成 14 年 7 月 12 日法律 第 88 号)に基づき行われている。市内の規制地域の指定状況は図 2-3-5 に示すとおりである。

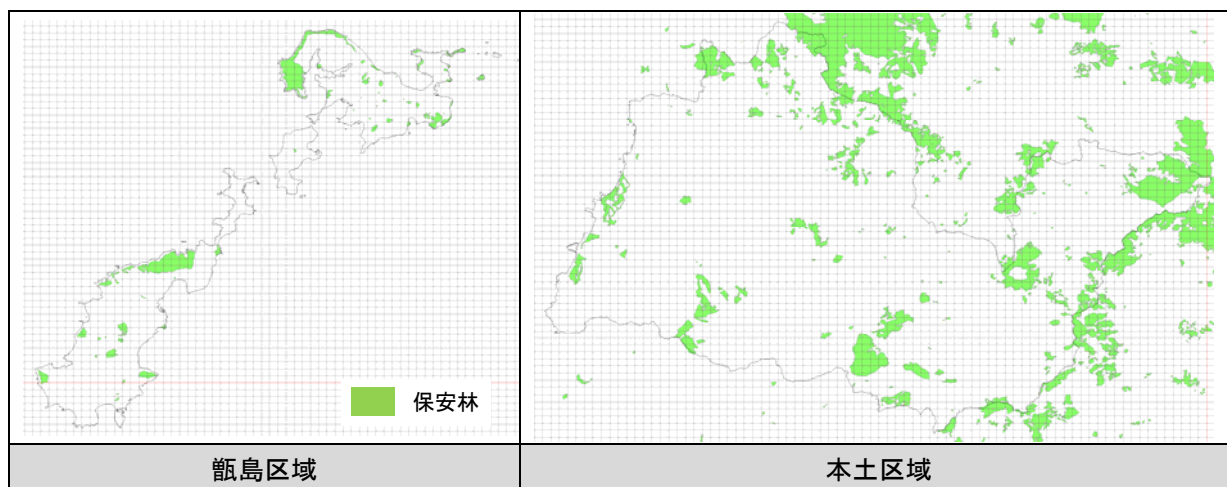


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-5 鳥獣保護区の指定状況

### (3) 保安林

自然環境保全上の観点から「森林法」(昭和 26 年 6 月 26 日法律第 249 号)に基づき保安林が指定されている。市内における保安林の指定状況は図 2-3-6 に示すとおりである。

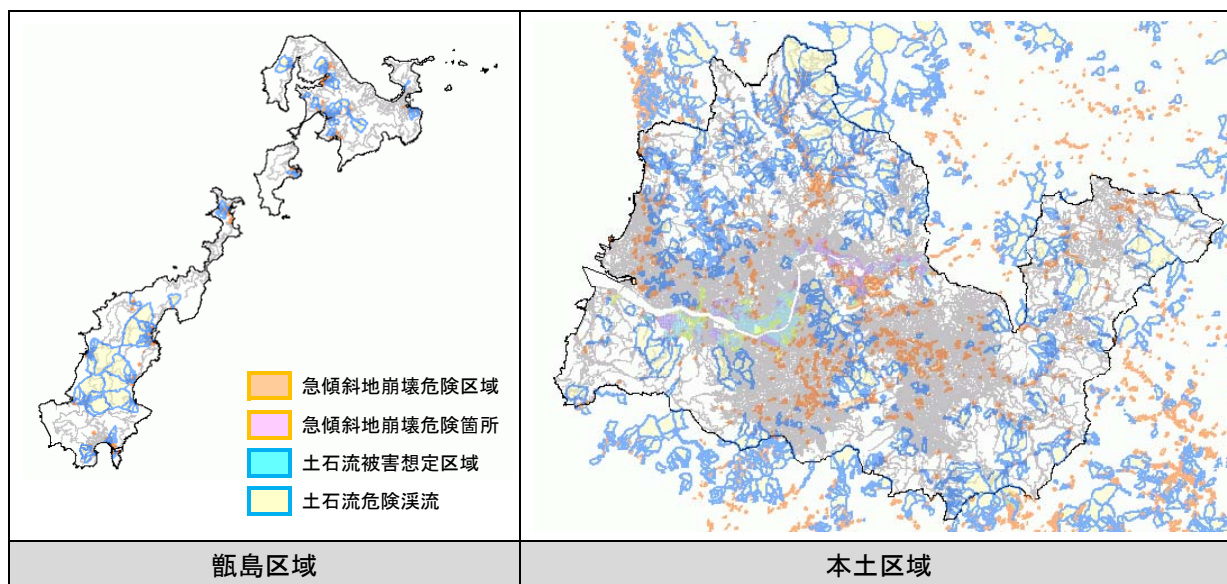


出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-6 保安林の指定状況

### (4) その他

災害防止の観点から「急傾斜地の崩壊による災害防止に関する法律」(昭和 44 年 7 月 1 日法律第 57 号)に基づく急傾斜崩壊危険区域等が指定されている。市内における規制地域の指定状況は図 2-3-7 に示すとおりである。



出典：薩摩川内市HP「地図サービス」

図 2-3-7 急傾斜地崩壊危険区域等の指定状況